

至誠無息  
堅忍不拔



創立明治33年(1900)  
開校明治34年(1901)  
神奈川県第二中学校



## 第31号

神奈川県立小田原高等学校  
同窓会 櫻友会

発行者 会長 津田憲一郎  
編集者 広報委員会  
委員長 原田泰隆

住所 〒250-0045  
小田原市城山3-26-1  
電話・FAX 0465-20-3281  
メールアドレス  
kenyukai@odako.org

# 2020年度 創立百二十周年記念 櫻友祭(小田高ホームカミングデー)／総会

期日：2020年5月10日(日)

会場：小田原高校

- ◆櫻友会(小田高ホームカミングデー)：各校内施設
- ◆同期会やクラス会、部OB会などの同時開催を歓迎します。

### ◆同窓会総会：視聴覚教室

※上記は現在計画中です。確定次第、櫻友祭のホームページ  
(<https://odako.info/>)でお知らせします。



〈写真は2019年度の櫻友祭の様子〉



受付風景

◆新学校長を迎えて…同窓会総会  
津田会長と新任の林忠校長（高31）に、挨拶いただき、栗原博氏（高20）を議長に議事を進行しました。  
(1) 4月14日開催の常任幹事会審議結果（平成30年度会務報告・事業報告、同一般会計決算、財産台帳・会計監査結果、平成31年度事業計画・一般会計予算、常任幹事会議事録）について会長から報告  
(2) 翌年の総会開催日を決定



太田氏、津田会長、小瀬氏

スクリーンに様々な画像を映しながら進められた「見ること」の考察に基づくお話は、様々な視点の提供があり、心豊かに生きるためにのヒント満載でした。



リンゴがなぜここに？

◆熟練の「視覚」：八幡山トーク  
昨年同様、総会に引き続いだ講演会を開催しました。  
講師は、茂登山清文名古屋芸術大学教授（高21）。テーマは「見ることの悦樂～老いの途上で～」。



瀧口さんお疲れ様でした

最後に、長年にわたって同窓会役員（事務局長、会長など）を務められた瀧口常任顧問（高5）の退任を報告し、瀧口さんから挨拶いただき終了しました。

◆ジャズ三昧・八幡山コンサート  
高21の音楽企画は、自称「ジャズ道楽人」の同期生内藤和正氏がナビゲートする「ジャズンベーカー」talk & Live。誰でも一度は耳にしたことがあるスタンダードジャズ、ラテン、ポピュラー・ソングの演奏で、ジャズの特徴や面白さを感じていただこうとの試み。



内藤和正氏

◆新設オープン：図書展示室  
全国的にも価値の高い中等教育資料である神奈川県立第二中学校・小田原中学校の蔵書（和漢書22,16冊、洋装本約20,000冊）を資料委員会が書架に分類・整理し、貴重

演奏はプロのジャズミュージシャン（ヴォーカル・塩田眞理子、ピアノ・阿部紀彦、ベース・江上友彦、ドラムス・中屋啓之）に昨年まで小田高ジャズ研の顧問をされていた神田知美氏が飛び入りでフルートを担当し、内藤氏もトランペットを熱演。素晴らしい演奏で大いに盛り上がらりました。

演奏はプロのジャズミュージシャン（ヴォーカル・塩田眞理子、ピアノ・阿部紀彦、ベース・江上友彦、ドラムス・中屋啓之）に昨年まで小田高ジャズ研の顧問をされていた神田知美氏が飛び入りでフルートを担当し、内藤氏もトランペットを熱演。素晴らしい演奏で大いに盛り上がらりました。

## 母校に帰る日 総会・桜友祭（小田高ホームカミングデー）

5月12日、総会・桜友祭（小田高ホームカミングデー）を予定通り開催しました。来場者数は昨年を上回る約600名。例年以上に同窓生以外の来場者が多く、活気あふれる一日でした。

### ◆卒業の節目を祝う…開会式

開会式では全員で校歌斉唱。卒業の節目を迎えた期（高11、21：）の方々に津田同窓会長（高20）から記念の小田高絵葉書を贈呈。太田（高11）、小瀬（高21）両常任幹事に代表して受け取っていただきました。

◆ジャズ三昧・八幡山コンサート  
高21の音楽企画は、自称「ジャズ道楽人」の同期生内藤和正氏がナビゲートする「ジャズンベーカー」talk & Live。誰でも一度は耳にしたことがあるスタンダードジャズ、ラテン、ポピュラー・ソングの演奏で、ジャズの特徴や面白さを感じていただこうとの試み。

書をガラスケースに展示した図書展示室が教材展示室の隣に設置され、櫻友祭で公開が始まりました。母校の南館3階に校史・教材・図書の3展示室がそろい、見ごたえのある展示ゾーンが完成しました。

◆川崎長太郎の始末書も…企画展  
校史展示室では企画展「旧制小田原中学をめぐる文学者たち」、校友誌「相洋」を読む」を開催。

前日に読売新聞に掲載された記事「川崎長太郎の始末書」持参で来場される文学ファンもおられ、昨年を上回る85名の来場でした。

◆PRチラシも作成…窓梅会資料室  
窓梅会資料室は、窓梅会役員の方々と事前に打ち合わせを行い、櫻友祭での公開を告知するチラシを作成。窓梅会総会などで配布していました。

櫻友祭の受付票データでも昨年の8名から21名に増加しており、小田高の受付を通じて窓梅会資料室に



貴重書の展示

◆茂登山氏の展示パネル  
前年までの10氏に加え、本年の講演会講師・茂登山清文氏を活躍する同窓生としてスカイイラウンジにパネル展示。展示内容を掲載した小冊子も改版して配布しました。

◆冊子も改版…同窓生パネル展示  
前年までの10氏に加え、本年の講演会講師・茂登山清文氏を活躍する同窓生としてスカイイラウンジにパネル展示。展示内容を掲載した小冊子も改版して配布しました。

◆在校生が案内…キャンパスツアー  
毎年人気のキャンパスツアー。在校生にガイドをお願いしたところ、生徒会長はじめ5名が見事に担当してくれました。

◆在校生のガイドで  
パネル展示と小冊子の配布は小田高祭でも行い、好評でした。

◆PRチラシも作成…窓梅会資料室  
窓梅会資料室は、窓梅会役員の方々と事前に打ち合わせを行い、櫻友祭での公開を告知するチラシを作成。窓梅会総会などで配布していました。

櫻友祭の受付票データでも昨年の8名から21名に増加しており、小田高の受付を通じて窓梅会資料室に



茂登山氏の展示パネル



在校生のガイドで

## 櫻友祭担当同期会に参加して

八幡山トーキー  
講演を終えて

茂登山清文（高21）

「見ることの悦楽——“老い”的途上で」と題して、トーキーをしました。私自身、老いることを自覚しつつ、「見ること」という自分のテーマで何を語れるのかな、と考え、また実行委員会の幹事らと相談して決めたものでした。

会場に入つて意外?だったのは、高齢者（が多いものと推測している）ばかりではなく、若い人たちも聴きに来られていたことでした。それはうれしい見込み違いでしたが、逆に残念なのは、小田高生は見うけられなかつたことです。

それはともかく、老いることを見ることについて、お聴きいただけた方たちが、何がしかを考える機会になつたでしょうか。古いとは、でき

◆例年通りの賑い…恒例の催事  
模擬店は「東華軒」、「だるま」に同期会が前日に手作りしたクッキーを提供。講演会の講師も加わり歓談。

櫻友祭実行委員長

蛭田克美（高15）



新しい櫻友会グッズ

◆新企画：櫻友会グッズ販売  
櫻友祭では従来、記念誌などの販売を行っていましたが、本年は総務委員会が新しい試みとして同窓会オリジナルの「櫻友会グッズ」として校章入りのクリアファイルと3色ボールペンを販売しました。

小田高祭でもこれらの商品を販売して手応えを感じていますので、今後の品揃えが楽しみです。

### ◆新企画：櫻友会グッズ販売

事前に部屋の鍵とハンドマイクを用意し、交替で説明。その後の消灯・施錠など、役割分担と連携がすばらしく、説明内容もわかりやすく具体的で、とても好評で、さすが小田高生との声が聞かれました。

◆それぞれに…グループ参集企画  
同期や部活の仲間が集うグループが参加。同期の集合場所としての利用のほか、公開講演会、コンサート、近況報告会などが活発に行われました。32各同期会、吹奏楽部OBで構成する「OG6」と「Facebook 小田高会」が参考。同期の集合場所としての利用のほか、公開講演会、コンサート、近況報告会などが活発に行われました。32各同期会、吹奏楽部OBで構成する「OG6」と「Facebook 小田高会」が参考。同期の集合場所としての利用のほか、公開講演会、コンサート、近況報告会などが活発に行われました。

◆例年通りの賑い…恒例の催事  
模擬店は「東華軒」、「だるま」に同期会が前日に手作りしたクッキーを提供。講演会の講師も加わり歓談。皆様、そして準備の段階からご協力をいただき大いに助かりました。また、当日の運営には高32各同期会、吹奏楽部OBで構成する「OG6」と「Facebook 小田高会」が参考。同期の集合場所としての利用のほか、公開講演会、コンサート、近況報告会などが活発に行われました。32各同期会、吹奏楽部OBで構成する「OG6」と「Facebook 小田高会」が参考。同期の集合場所としての利用のほか、公開講演会、コンサート、近況報告会などが活発に行われました。

◆例年通りの賑い…恒例の催事  
模擬店は「東華軒」、「だるま」に同期会が前日に手作りしたクッキーを提供。講演会の講師も加わり歓談。皆様、そして準備の段階からご協力をいただき大いに助かりました。また、当日の運営には高32各同期会、吹奏楽部OBで構成する「OG6」と「Facebook 小田高会」が参考。同期の集合場所としての利用のほか、公開講演会、コンサート、近況報告会などが活発に行われました。32各同期会、吹奏楽部OBで構成する「OG6」と「Facebook 小田高会」が参考。同期の集合場所としての利用のほか、公開講演会、コンサート、近況報告会などが活発に行われました。

ないことばかりが増えていく、ということではなく、逆にその時にこそ新たな可能性がひらかれていく場であります。ゴヤやモネの晩年、眼を患つてからの絵は、その証でした。もちろん私も含めて、会場のほとんどの方は、芸術家ではありません。けれども、芸術とは、芸術家だけのものではなく、私たちの生活と地続きにあるわけですし、両者の距離はさほど大きくありません。

小田高の校舎に前回入ったのは、たしか40年ほど前のことでした。風景はずいぶんと様変わりし、今回の会場となつた視聴覚室の立派さにも驚きました。トークの途中、音楽を流すなど、映像の見せ方にもこだわりがあったのですが、そんなわがままを支えてくれた担当者の方たち、ありがとうございました。

演口 で 境 儀 き ら て も 動

## 八幡山コンサート ジャズ道楽の域

小田高の校舎に前回入ったのは、たしか40年ほど前のことでした。風景はずいぶんと様変わりし、今回の会場となつた視聴覚室の立派さにも驚きました。トークの途中、音楽を流すなど、映像の見せ方にもこだわりがあつたのですが、そんなわがままを支えてくれた担当者の方たち、ありがとうございました。

その場は私に備えさる

「これにしてもスタンウェイが常々お見えになつた。」  
これが「集成館ホール」の音響環境  
は、出演者も大絶賛の素晴らしさ  
でした。

ので詰ったところ「よし、協力しよう」との前向きの結論。高21の櫻友祭に向けての始動となりました。

同期の新保明君と尾崎君にも参加して貰い、Facebook の立上げが提案されました。（余談ですが、新保君は本活動を機に同窓会の広報委員会

**内藤和正（高21）**

機の一つで、『在校生とのジャムセッション』というアイデアを温め接触を重ねましたが、準備が儘なく辞退したい旨のお話で、実現できず残念でした。

と、来年（2018）を担当する高20を中心とした流れを把握しておいて欲しいとのこと。正直乗り気ではなかったが4年に一度の同期会を計画し幹事会も継続的に開催していくな

卷之三

この企画を立案する

担当同期に「決まっている」と

## 八幡山コンサート ジャズ道楽の域を超えて

、「理屈より感性」の声が上がるも  
私の想いに十分に応えて頂きました  
また「小田高にジャズ研が誕生  
の限界、二つの画面を立ち替える

りがあつたのですが、そんなわがままを支えてくれた担当者の方たち、ありがとうございました。

指しました。そのメッセンジャーには小田原でも活躍する腕利きのノロミュージシャン達にお手伝い頂

景はすいぶんと様変わりし、今回の会場となった視聴覚室の立派さにも驚きました。トークの途中、音楽を流すなど、映像の見せ方にもこだわ

時に古典を織り交ぜながらの実演を通じて、この音楽に固有な感覚の源を掘り下げるジャズの魅力を伝えようと、うまい二重奏を組むなど、うまいユニークなライブ演奏会を

さほど大きくありません。  
小田高の校舎に前回入ったのは、  
たしか40年ほど前のことでした。風

「ジャズ」をモットーに、幅広く聴き易い選曲を心掛け、この音楽を持つ多様で多彩な表情を伝え、同

との方は芸術家ではありませんが、けれども、芸術とは、芸術家だけのものではなく、私たちの生活と地続きにあるのですし、両者の距離は

この嵐になり、久しく忘れかけていた緊張感を充分に味わえる、有り難くも大変貴重な機会を頂きました。今回の talk & Live では『楽しも

もあります。ゴヤやモネの晩年、眼を患つてからの絵は、その証でした。もちろん私も含めて、会場のほとんどの方は、吉野茂氏をまわりこなす。

手探りしながら整えて、迎えた本番では将に『期待と不安と二つ我にあり』の心境がありました。ともあ

ないことばかりが増えていく、とい  
うことではなく、逆にその時にこそ  
新たな可能性がひらかれていく場で

／ディレクター／クリエーター  
——  
「——  
——

頂きました。

会にも加わり高21の代表で活躍してくれています)

一年目は、全体の流れと高20企画の進め方を拝見させて頂くお礼を述べた立場でした。樫友祭当日の当期役割は校内の駐車場と門の管理ですが、控室で10月に開催する高21同期会の準備と来年の樫友祭企画案を相談しました。

ここが今回の樫友祭企画のスタートです。

8月に八幡山トーケーの茂登山君が受諾してくれて10月には熟考していく内藤君がコンサートの企画を纏めてくれました。これで、企画担当期会で開催します。

令和2年、母校は創立百二十周年を迎えます。学校・PTA・同窓会が共同で記念式典や記念史の発行など記念事業の準備を進めていますが、樫友祭(小田高ホールカミングティー)も記念事業として5月10日(日)に母校で開催します。

本稿作成の時点では実施内容の詳細は決定しておりませんが、主要企画の概要についてお知らせします。

「中等教育史料館」(仮称)開設

の役割が果たせることになり「安心です。あとは、出来るだけ多くの同期生に来て貰えるようPRに力を入れました。ちょうど10月に開催した4年に一度の同期会で、樺友祭と茂登山・内藤両君の企画を紹介し本人にもスピーチをしてもらいました。さらに、今年3月には次回同期会のお知らせと一緒に樺友祭のチラシを全員に発送し出席を呼びかけました。この結果、多くの仲間が母校を訪れ同期生のトークとコンサートを楽しんでくれました。小田高卒業生を強く感じた二年間でした。

## 各展示室の概要

### 校史展示室

校宝と創立前史から平成までの通史展示を中心に、部活動、国際交流、卒業生の活躍、オリンピックと濱谷寿光展のテーマ展示を常設し、1年ごとに企画展を開催。

### 教材展示室

明治33年の創立から昭和23年の新制高校実施まで、神奈川県第二中学校・県立小田原中学校で使用した各教科の教授用具、教科書、生徒のノートなどを常設展示。

### 図書展示室

神奈川県第二中学校・県立小田原中学校で教師の教授用参考書や生徒の学習図書として使用した和漢書2,216冊、洋装本2万冊を常設展示。これらの展示室が生徒たちの校史教育の場となり、教職員、保護者、卒業生、そして地域社会のみなさまに小田原高校の歴史と伝統をご理解いただくなることを願い、学校との委託契約に基づいて同窓会が管理・運営を行っています。

## 企画展



濱谷寿光先生



平成28年度櫻友祭より

伝と濱谷寿光先生』（仮称）の開催を予定しています。

東京五輪 TOKYO2020 と箱根駅

活動している同窓生によるコンサートを予定します。

## 活躍する同窓生企画

伝と濱谷寿光先生』（仮称）の開催を予定しています。

# 飛躍の令和時代に向けて

**校長 林忠（高31）**

姿、行事や部活動への集中力は、ど

れもが素晴らしいレベルで実践され

ており、こうした質実剛健の気風も

伝統として引き継がれています。

令和となり大学入試も変革の時代

を迎え、学習指導要領も大きく変わ

りました。単位制のメリットを組合せ、生徒一

人ひとりの学びがより一層充実する

よう、不斷の努力を積み重ねて、小

田高の魅力づくりに取り組んでまい

ります。

同窓会の皆様方からは、様々な場

面でご支援をいただいており、他校

では不可能なことも本校同窓会の強

力なバックアップのおかげで実現で

きているものが多くあります。この

場を借りて御礼申し上げます。同窓

生の皆様、お時間が許せば、是非八

幡山へお出かけください。お待ちし

ております。

よで、県指定の天然記念物であ

る「常緑広葉樹林」はさらに背丈が

大きくなり深い森となっています。

一方で、体育館にある大きな扁額

「至誠無息」「堅忍不拔」は、長い間

ずっと小田高生を見守ってきたかの

よう、上々庭の周辺は相変わらず手入れの

不十分な雑木で鬱蒼としているところなど、昔と変わっていない景色

もあります。そして、この八幡山の学び舎で、朝早くから自学自習に励み、真剣な眼差しで授業に向かう



林忠 校長

櫻友祭実行委員長 蝶田克美（高15）



箱根駅伝のコース・中継点は、県立小田原中学校（現小田原高校）の徒歩部（現陸上競技部）顧問だった瀧谷寿光先生（中7）が、東京から箱根まで歩いて実測し、詳細な調査を行って設計したものです。大正9年の第1回大会にも、瀧谷先生と徒步部は大きな貢献をしました。第1回大会はスタートが午後1時だったため、5区の山登りは夜になりました。当時の箱根山は夜に人が通るところではなく、山犬が出ると言われていました。松明を焚くのが一番安全でよいだろうというので、瀧谷先生は部員たちに松明を作らせ、箱根山に配置しました。ところが最終の慶應大学が上つて来るのが遅く、松明が燃え尽きてしまって困りました。また、箱根山は人通りが全くなく、その上石ころがひどくゴロゴロしていましたので、宮ノ下から芦ノ湯まで部員たちを選手に伴走させました。

前号の「いだん」と小田高に「小田原高校卒業生の箱根駅伝出場選手一覧」を掲載しましたが、多くの方々から漏れのご指摘と貴重な情報をいただきました。ここに謹んでお詫び申し上げ、改めて一覧を掲載させていただきます。情報収集に最善を尽くしておりますが、まだ漏れがあるかもしれません。ぜひ情報提供をお願い申し上げます。

## 協力した陸上部 第1回箱根駅伝に

### 小田原高校卒業生等の箱根駅伝出場選手一覧

卒業回数	氏名	大学	大会	年	戦績	備考
中12	河野 一郎	早稲田大学	第1回大会	大正9年	7区 3位 (1時間27分40秒)	第3、4回大会は早大が総合優勝
			第2回大会	大正10年	4区 3位 (1時間19分40秒)	
			第3回大会	大正11年	7区 1位 (1時間20分55秒) 区間賞	
			第4回大会	大正12年	7区 2位 (1時間21分04秒)	
中15	河野 謙三	早稲田大学	第2回大会	大正10年	1区 1位 (1時間28分19秒) 区間賞	小田中徒歩部で金栗四三と瀧谷寿光(中7)が指導した
			第3回大会	大正11年	8区 1位 (1時間19分02秒) 区間賞	
			第4回大会	大正12年	5区 2位 (1時間44分15秒)	
中27	中井 賢二	早稲田大学	第14回大会	昭和8年	2区 1位 (1時間09分15秒) 区間新	第14回大会は早大が総合優勝元中井一郎小田原市長の弟
			第15回大会	昭和9年	9区 3位 (1時間11分14秒)	
			第18回大会	昭和12年	3区 2位 (1時間15分38秒) 区間新	
中38	牧野 博	明治大学	第23回大会	昭和22年	7区 1位 (1時間19分43秒) 区間賞	第23回大会は明大が総合優勝
			第24回大会	昭和23年	7区 2位 (1時間13分43秒)	
高1	武井 英雄	横浜国立大学	第26回大会	昭和25年	3区 12位 (1時間23分24秒)	武井英雄と武井孝雄は兄弟
			第27回大会	昭和26年	5区 8位 (1時間40分53秒)	
			第28回大会	昭和27年	1区 9位 (1時間14分31秒)	
			第29回大会	昭和28年	5区 12位 (1時間41分05秒)	
高3	武井 孝雄	横浜国立大学	第28回大会	昭和27年	5区 10位 (1時間48分15秒)	第28回大会の5区は雪だった
			第29回大会	昭和28年	1区 7位 (1時間12分43秒)	
			第31回大会	昭和30年	3区 8位 (1時間14分02秒)	
高4	杉崎 隆志	中央大学	第30回大会	昭和29年	4区 1位 (1時間09分11秒) 区間賞	
高7	露木 富	横浜市立大学	第33回大会	昭和32年	6区 12位 (1時間24分35秒)	
			第34回大会	昭和33年	6区 12位 (1時間22分40秒)	
高17	帰山 寛之	慶應義塾大学	第42回大会	昭和41年	9区 12位 (1時間26分14秒)	
高25	石塚(左近) 靖夫	筑波大学	第52回大会	昭和51年	9区 13位 (1時間27分58秒)	大学進学後、陸上競技を始める
			第54回大会	昭和53年	4区 5位 (1時間07分17秒)	
高26	内野 郁夫	早稲田大学	第51回大会	昭和50年	2区 15位 (1時間28分03秒)	瀬古利彦が走っていた時のキャプテン
			第53回大会	昭和52年	4区 8位 (1時間08分37秒)	
			第54回大会	昭和53年	5区 7位 (1時間18分26秒)	
高26	森 二郎	筑波大学	第54回大会	昭和53年	7区 15位 (1時間15分20秒)	
高47	豊田 雄樹	中央大学	第73回大会	平成9年	7区 14位 (1時間07分46秒)	
			第75回大会	平成11年	5区 4位 (1時間14分25秒)	
高47	平野 泰輔	神奈川大学	第75回大会	平成11年	10区 11位 (1時間15分10秒)	
第11代 校長	佐藤秀三郎	東京高等師範学校(現筑波大学)	第4回大会	大正12年	10区 1位 (1時間19分49秒) 区間賞	ベルリン五輪陸上競技コーチ 昭和24年4月15日～昭和25年1月31日在職
			第5回大会	大正13年	6区 1位 (1時間26分09秒) 区間賞	
			第6回大会	大正14年	6区 1位 (1時間29分16秒) 区間賞	

## 第10回 小田高自然環境フォーラム

# 野生の世界と私たち

小田高同窓会の目玉活動のひとつ「自然環境フォーラム」が10回目を迎えた。令和元年6月16日、母校小田高の集成館ホールで、「野生の世界と私たち」をテーマに開催された。

## 毎日が楽しくなる! 自然観察のススメ



講師の秋山幸也さん

講師は、相模原市立博物館・学芸員の秋山幸也（高39）さん。相模原市内の北里大学で非常勤講師も務める。秋山さんは「わたしは、毎日の暮らしも、趣味でも、すべてが自然観察の世界にいる」と自己紹介した。

### ぐつと近づいて見る

クワコ  
(4歳幼虫)

秋山さんは博物館で毎月「生きものミニ・サロン」を開いている。子どもたちが「ナニナニ?」と集まる。その瞬間がとても幸せだと語る。公園にある立て看板に、花や木を探ることは止めましょと、いつもながらの禁止条項が掲出されている。管理上の注意だ。これを見て秋山さんは言う。「子どもたちには、自然に触れて貰って体感する。それを知つて貰いたいのです。」いつでも、どこでも、身近な自然の環境の昆虫がいます。判りますか。枝と葉。そのどこに? ざわつく会場。秋山さんは画面を拡大した。枝の一部と見えたのが幼虫だ。「これがク

ワコの擬態です。自然観察の面白いところです。頭をつつくと目玉模様が浮かびます。」

秋山さんは、フィールドノートという言葉を挙げた。毎日の観察場所がマイフィールド。そこで見たもの、気が付いたものを書き留める。これがフィールドノート。気が付いた「なぜ?」を、たくさん書く。楽しいですと言ふ。



演台から出て語りかける秋山さん

### 擬態の動物を観察する

壇上に桑の木が投影された。「この画面にクワコという昆虫がいます。判りますか。」枝と葉。そのどこに? ざわつく会場。秋山さんは画面を拡大した。枝の一部と見えたのが幼虫だ。「これがク

【ひつでも、ひじでも、誰ひども】  
秋山さんは昨日、穗高連峰の涸沢岳に登った。そこでライチョウを見た。後続の登山者に知らせた。その後の登山者に知らせた。その人たちは興奮し、「ライチョウだ」と叫んでいた。

画面に登場したのは、真っ赤な花をつける  
【キダチアロエ】 溫暖な伊豆半島

稻取海岸の光景だ。昨年（2018年）秋の連続台風の高潮で姿を消した。

【ハマヒルガオ】 海岸に生えるヒルガオ科 純粹な印象だがフランス人が見ると官能的になる。



ハマヒルガオ

ニュージーランドで発見した。栄養価が高くホウレンソウより美味。

【オカヒジキ】 ヒジキの葉に似て、丘に生える。美味しい。

【イソギク】 岩場に群生するキク科植物。冬に咲く黄色い花は美しい。

【アサツキ】 スーパーの店頭にあるアサツキ（ネギ）の原種。



オカヒジキ

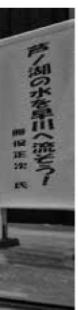
これに限る。島根県津和野町の地名の由来。

【ハナマデシコ】 大和ナデシコを連想させるが、花も葉も茎も派手。

【イソギク】 岩場に群生するキク科植物。冬に咲く黄色い花は美しい。



アサツキ



勝俣正次さん

代に開拓された裾野・深良へ芦ノ湖の水を流す入口だ。静岡県側が水利権をもつシンボルともいえる。

【芦ノ湖の水を早川へ流そう！】



湖尻水門

### 芦ノ湖の水利権、神奈川県側にはない

日本を代表する観光地・箱根・芦

ノ湖。この水は、江戸時代、小田原藩が領地である現在の静岡県裾野

でコメを増産しようと、江戸商人の資金を導入、暗渠を切り抜き、裾野側に水を流したことに始まる。水利権は静岡県側にあって、地元箱根

にはない。

芦ノ湖の水をめぐる係争は続き、日本を代表する財界人、渋沢栄一、益田孝が登場する事件も起きた。その湖の水の一部を神奈川県側に流す理論的な考察、それが勝俣さんの主張だ。

会場のスクリーンには、芦ノ湖の水位（基準観測点は湖の箱根園近く）の数字が図式と表で投影された。水位は、新しい湖尻水門が完成した平成2年以降、平均20cm高くなっている。この水量が流れ出ないことでも、勝俣さんは、そう警鐘を鳴らす。

【ハマダイコン】 栽培種の大根と親戚。だが地下茎は貧弱。つばみを塩ゆでになると美味。



コマツヨイグサ

【アシタバ】 天ぷら料理が美味。生育ははやい。切ると黄色い汁を出す。

【ハマウド】 セリ科。苦みがあり、あまり食べない。

【コマツヨイグサ】 北米からの帰化植物。

酒井さんが紹介した海べの植物は40種以上。「河川の上流で取水、発電、洪水対策が進んだ。川は土砂の流れが少なくなり、海岸はやせてしまった。海辺の植物は厳しい環境の中で生き続けている。その姿を今後も追ってていきたい」と締めくくった。

講師の勝俣正次（高25）さんは、箱根で育ち貸別荘を経営。早川流域環境懇談会の代表として、表題の活動を展開している。

### 芦ノ湖の水を早川へ流そう！

芦ノ湖の湖尻（桃源台）のキャンプ場から芦ノ湖西岸を歩きだすと、改築された湖尻水門が現れる。相模湾に流れ下る早川への水門だ。水門から仙石原の早川の水源までは逆川が結ぶ。湖畔では湖尻水門を過ぎると、やがて深良水門。ここが江戸時

【ハマボウフウ】 香りが強いセリ科植物。白い地下茎は美味。割烹料理で刺身のつまみに使う。



【ハマゴウ】 香りがいい。葉からは御香をつくる。茎の表皮は御線香の素材だ。

【ツルナ】 冬に赤黄色の花をつけ、18世紀、キャプテン・クックが

からのかの声に聞こえた。新しい湖尻水門。これが伏流水の流れを止めている現況から、その伏流水に代わる「流れ」、越水を常時つくるという発想だ。神奈川・静岡両県当局に求められる行政行動、水争いの芦ノ湖を解決する喫緊の課題と写った。

「早川の清流を取り戻す百年に一度のチャンスは、今です」、勝俣さんの声は会場に響いた。

**オーストラリアに生きる—野生のインコ・オウムたち**



岡本勇太さん

最後の登壇者は、小田原で地域新聞ジャーナリストだった野生インコ写真家、岡本勇太（吉田島農林OB）さん。夢を実現するために海外へ跳んだ。

**いざオーストラリアへ**

岡本さんは、「高校2年生の時、インコを飼っていた。その野生の生態を知りたくて棲息するオーストラリアに移住した」と自己紹介。オーストラリアは日本の約20倍もの大きな大陸。人口は約2000万人、シ

ドニー、ブリスベンなどの都市は東海岸に集中。国の殆どは乾燥した大陸だ。約6000万年以前から他の大陸とは陸続きになつていて、独特の動植物の生態系がある。カンガルーやコアラ、カモノハシ、エミューなど他の大陸にはいない動物がそれだ。

**インコは派手派、オウムは地味派**

さて、オウム目は世界で約350種。南米アマゾンやインドネシアの熱帯雨林アフリカのサバンナ、オーストラリアの内陸地帯に棲息する。もともとは「森の鳥」でもあるオウム目の鳥たち。頭部にとさかのような冠羽があるのがオウム科、無いのがインコ科。インコは青や緑、赤など鮮やかな羽色で、世界中に約330種いる。オウムは白や灰色、黒など地味な羽色で、生息地域はフィリピンを北限に大洋州の狭い範囲だ。それに21種類しかいない。

**夕陽を背景に飛ぶ大群**

最後の登壇者は、小田原で地域新聞ジャーナリストだった野生インコ写真家、岡本勇太（吉田島農林OB）さん。夢を実現するために海外へ跳んだ。

**いざオーストラリアへ**

岡本さんは、「高校2年生の時、インコを飼っていた。その野生の生態を知りたくて棲息するオーストラリアに移住した」と自己紹介。オーストラリアでは、オカメインコ（オウム科）は内陸に棲息。アウトバックと言われる地帯で、数年間も雨が降らないこともある。彼らは広大な大陸を移動する放浪の生態を見せる。セキセイインコ（インコ科）

大きいインコの仲間  
コンゴウインコ (100cm)

も内陸部に棲息。集団で移動してい

る。岡本さんは、2019年1月、先輩の情報でセキセイインコの大群を探しに出た。拠点ケアンズ（東海岸）から1000km離れた内陸だが、更に400km先でこの大群に遭遇した。15万羽はあるであろう空イッパイの大群、夕陽を背景に飛ぶ姿は圧巻だ。「感動的だった」と岡本さん。

**コアジサシで豪州と結ばれている**

オーストラリアと小田原市、「小田原の鳥」コアジサシで結ばれている。同国やニュージニア、南アメリカで越冬するコアジサシは繁殖のため日本に渡来する。酒匂川の河口付近に巣作りをするが、最近その数が少なくなった。環境省の絶滅危惧種に指定されている。

**15万羽のセキセイインコ**

10月12日開催予定だった第14回青春かながわ校歌祭は、台風19号の影響により中止となりました。来年は、10月10日（土）、横須賀芸術劇場で開催されます。

**岡本さんの著書『インコのびのび』**  
野生のオカメインコ、セキセイインコの写真集『インコのびのび』（文

一総合出版）が出版された。ネットや書店で販売中です。

★

11さん。

育っているからだ」と、日ごろの自然観察の姿を強調した。

フォーラムの司会は中山和也（高

明子副校長（高33）は「小田高の構内には自然が多い。フォーラムでの多彩な話題は、それを更に身近なものにしてくれる」と期待感を寄せた。

同窓会交流委員会の蛭田克美委員長（高15）は「小田高OBには世界的な研究者がいる。自然と親しむ感性が

生物部OB会  
会長 牧林功（高4）  
取材・記事 宮倉正弘（高5）  
生物部ホームページ「しろだも」  
記事編集 同窓会広報委員会委員  
祖父江典子（高45）



校友会誌『相洋』

企画展  
から

# 旧制小田原中学をめぐる 文学者たち

△校友会誌  
『相洋』を読む

旧制小田原中学校(現小田原高校)は、芥川賞作家で文化勲章受章者の尾崎一雄(中12)や心理小説家の北原武夫(中19)など、個性豊かな文学者を輩出している。国語漢文の小林好日先生が大正2年(1913)

7月、生徒会の前身である校友会の機関誌『相洋』を創刊し、生徒たちの文章、詩歌、論説などを掲載した。特に才能のある生徒には、書くことを勧め、指導した。『相洋』は年1回、昭和17年の第33号まで発行された。

本年度の校史展示室企画展は、作家たちが中学時代にどのような文章を

書いていたのか、これまでほとんど公開されなかつた『相洋』の作品を紹介している。

取り上げる文学者と主な作品は、

小説家・牧野信一(中9)。

小説家・尾崎一雄(中12)。

「暮れゆく冬の日」(第3号)。

詩人・府川恵造(中15)

「緑の景色」(第9号)。

詩人・敷田義雄(中16)

「八幡山上に立ちて」(第8号)。

小説家・川崎長太郎(中17相当)

「新年所感」(第7号)。

小説家・北原武夫(中19)

「秋の曲」(第10号)。

小説家・岩越昌三(中22)

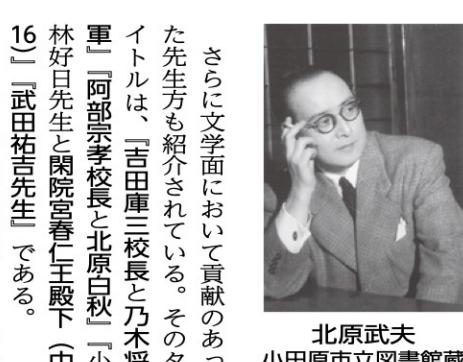
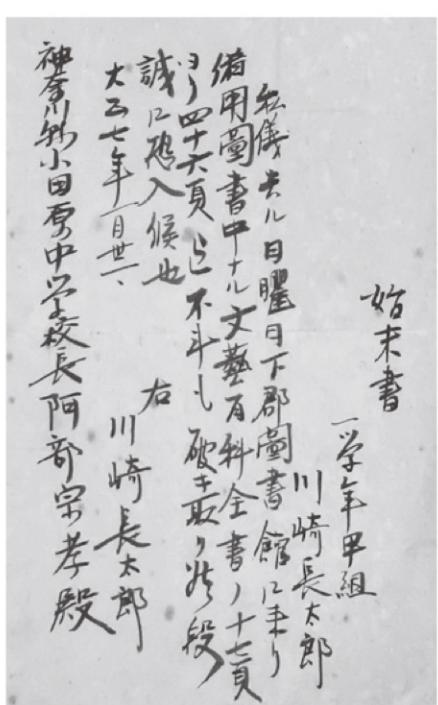
「晩秋墓地哀愁抄」(第16号)。

小説家・牧野英二(中22)

「日本アルプス縦走記」(第16号)。

漢文学者・大曾根章介(中42)である。

さらに文学面において貢献のあつた先生方も紹介されている。そのタイトルは、「吉田庫三校長と乃木將軍」「阿部宗孝校長と北原白秋」「小林好日先生と閑院宮春仁王殿」(中16)「武田祐吉先生」である。また、川崎長太郎が起こした不祥事の始末書を初公開した。川崎は大正6年4月に小田原中学校に入学するが、翌年1月に足柄下郡図書館で「文芸百科全書」の17~46ページを破き取り、阿部校長へ始末書を提出し、休学後、3月末に退学となつた。本人は後年、自筆年譜に「図書館の本を傷つけ中学校から放校」と記しているが、どこの図書館で、何の本を、どのような内容のページを破つ

北原武夫  
小田原市立図書館蔵

川崎長太郎の始末書



3年乙組 尾崎一雄「海岸の眺望」

たのが、不明だつた。川崎の始末書があることは20年ほど前、小田原高校百年史を編集する際にわかつてゐたが、不名誉なことであり、遺族の了解も得られていないので、耐火金庫に非公開として保存していた。

昨年、企画展で文学者たちを取り上げることになったとき、不祥事が100年以上が経過し、研究者たちのためにも眞実を明らかにした方がよいと、始末書の公開を考えた。遺族を搜し出し、公開の了解を得ることができたので、初公開することにした。「文芸百科全書」は明治42年に出版され、文学や演劇の専門書だった。破き取ったのは小説論のページで、川崎が小説に過剰なまで書いた。長年川崎を研究している日本近代文学研究者の斎藤秀昭先生が7月に来校し、「退学は川崎の作家人生を決めた大きな出来事であり、始末書により具体的な内容がわかつた」と喜んでいる。

# 校史展示室から

## 展示室の公開

新たに着任された先生方に小田高の歴史と伝統をご理解いただくため、4月1日に展示室を公開しました。

林校長（高31）・澤村教頭をはじめ11名が来場されました。

新入生への展示室公開は、平成23年度より母校のご理解・ご協力のもと、新入生に小田高の歴史を学んでいただいている。この公開は、最も大切な公開行事の一つとして実施しています。4月9日と11日に担任の先生が自分のクラスを引率され、1年全9クラス、計326名が見学されました。新入生たちも先生方も熱心にご覧になり、大変充実した行事でした。

桜友祭（小田高ホームカミングデー）の5月12日は、85名が来場されました。今年も窓梅会が窓梅会資料室を開設されました。

小田高祭の6月8日・9日は、109名が来場されました。

大多数の保護者が3年間に一度も展示室をご覧になつてないので、7月6日はPTA実行委員会の方々にご覧いただき、11月16日はPTA講演会の前に公開しました。

学校施設見学の8月3日、学校説明会の10月19日と12月7日は、小田

高を志望する中学生と保護者が多数来場されました。

## 生物標本の常設展示

昨年10月、教材展示室にガラス製展示ケースを設置し、主に明治時代の植物標本12点を常設展示しました。特に閑院宮春仁王殿下（中16）が明治43年に小田原御別邸で採集されたハンショウヅル、「神奈川県立第二中学校」のラベルがついている博物の伊藤和貴先生が明治45年に箱根で採集したコケシノブが貴重です。



植物標本



剥製標本と液浸標本  
右の展示ケースは高9卒業記念品、  
左は高11卒業記念品

13年購入）、絶滅危惧種のオオサンショウウオ（昭和2年購入）をクリーニング・補修し、生物教材室の絶滅種のキタタキ（大正元年採集）とともに教材展示室に常設展示しました。

13年購入）、絶滅危惧種のオオサンショウウオ（昭和2年購入）をクリーニング・補修し、生物教材室の絶滅種のキタタキ（大正元年採集）とともに教材展示室に常設展示しました。

43年採集）、絶滅危惧種のカモノハシ（大正3年購入）、ヒル（明治44年購入）、ウナギの発育順序（大正13年購入）、など、貴重書もあります。「報徳記シヨウウオ（昭和2年購入）をクリーニング・補修し、生物教材室の絶滅種のキタタキ（大正元年採集）とともに教材展示室に常設展示しました。

43年採集）、絶滅危惧種のカモノハシ（大正3年購入）、ヒル（明治44年購入）、ウナギの発育順序（大正13年購入）、など、貴重書もあります。「報徳記シヨウウオ（昭和2年購入）をクリーニング・補修し、生物教材室の絶滅種のキタタキ（大正元年採集）とともに教材展示室に常設展示しました。

えられており、校史的価値も高い教材です。この生物標本群を小田高の教育遺産として適切に管理・活用していくため、学校のご理解をいただき、昨年12月に学校と「生物標本群の管理・活用について（覚書）」を調印し、資料委員会が実務を担当することになりました。その一環として、生物標本群を紫外線から保護するため、3月に「がんばれ！小田高」応援基金により生物教材室のすべての蛍光灯をLEDへ取り換えました。

えられており、校史的価値も高い教材です。この生物標本群を小田高の教育遺産として適切に管理・活用していくため、学校のご理解をいただき、昨年12月に学校と「生物標本群の管理・活用について（覚書）」を調印し、資料委員会が実務を担当することになりました。その一環として、生物標本群を紫外線から保護するため、3月に「がんばれ！小田高」応援基金により生物教材室のすべての蛍光灯をLEDへ取り換えました。

## 図書展示室開設！

平成20年に計画してから11年かかりましたが、令和元年5月12日に教材展示室の隣に「図書展示室」を開設しました。旧制神奈川県立第二中学校・小田原中学校の蔵書を紹介しています。和漢書が2216冊、洋装本が約2万冊あります。



図書展示室



和漢書

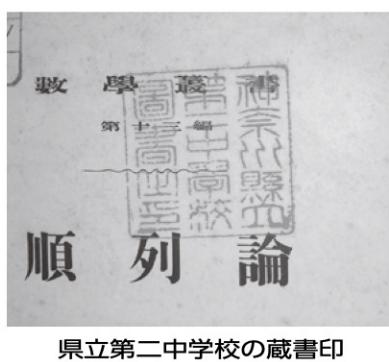
和漢書は国語、漢文、地理、歴史、美術、書道の基本図書をよく揃え、書籍印がある本が202冊あります。

「神奈川県立第一中学校」の蔵書印がある本が202冊あります。

「神奈川県立第二中学校寄宿舎」「神奈川県立小田原中学校寄宿舎」「神奈川県立小田原中学校校友会」の蔵書印がある本、「神奈川県立小田原中学校校友会」の墨書きがある本などは、校史資料として貴重です。また、

「ブリタニカ百科事典第9版（1875～1889年）」、「マイヤー百科事典（1902年）」、坪内逍遙翻訳の「シェイクスピア全集、北原白秋の弟」

本群と同様に、明治・大正の二度の火災、関東大震災、戦災、校舎改築による廃棄など、度重なる災難を乗り越え、奇蹟的に受け継がれてきました。これだけの旧制中学の蔵書がまとまって存在することは県内に例がなく、近代中等教育の「歴史的教材」として価値が高いと考えられます。



県立第二中学校の蔵書印

厚木高女学徒勤労運動員の記『阿夫利嶺にこだまして』(平成12年)／吉澤繁先生(高36)より  
在学中の英語教科書7冊、各教科の副教材37冊／井出光先生(高19)より  
「御料車と華族の愛車」(平成30年)  
〔霞会館より〕  
瀬戸轉次(中32)の小田中時代の英語ノート／日比野正男(高10)様より  
「早稻田・競走部の草創期活躍したのは小田原で生まれ育った兄弟だった!」武田和文著(早稻田大学エクステンションセンター近代史研究会「会報」第19号)／武田和文様より  
吉田庫三初代校長の墓所の写真12点／國分尚副会長(高16)より  
・滝谷寿光米寿の祝い(昭和58年)とNHKラジオ「あの時私は――」つの世界新記録ー(昭和56年)を収録したDVD／滝谷彰久先生より  
・吉田庫三初代校長の葬列の写真(大正11年)／金子不二夫(高17)様より  
校史展示施設設置校(同窓会)連絡会は、展示室を通して母校の発展に寄与するため、展示室を開設している小田高、横浜平沼高校、横須賀高校の同窓会が協力して平成24年4月に発足しました。昨年は横浜緑ヶ丘高校牧陵会が加わり、会を充実させ、「校史展示施設研究協議会」へ改編するため、昨年10月28日に横浜平沼高校の真澄会室で第1回準備会、成期の学習成績通知表などを問合せ

### 次の資料を探しています!

第1～6、8、9、12、15、16回

小田高祭プログラム、平成15、16年度小田高祭プログラム、大正期と平成期の学習成績通知表などを問合せ



航空写真(西から撮影)(※)



上庭の木造小屋(※)

今年は5月24日に「ホテルおかだ」で総会を開き、顧問の加藤憲一市長(高35)、加部裕彦副市長(高22)、来賓として同窓会本多高弘副会长(高26)・小田原高校岩本明子副校长(高33)、県庁小田高会河鍋章太郎(高33)をお招きし、盛大に行なうことができました。

今回は宿泊のため、ゆかた姿が多いリラックスムード。まずは、座間亮前会長(高31)のあいさつで開会となり、今年度の新会員の一藤木延子(高38)さん、久保寺達也(高66)さん、大胡田早紀(高67)さん、笠松裕太(高67)さん、内田早也花(高67)さん、吉川万勝(高67)さんの6名がステージに整列し、自己紹介。会場は大きな期待と、温かい拍手で包まれました。新役員の改選、乾杯を経て、大抽選会と、会は一気に盛り上がり最高潮。

最後は、恒例の参加者全員で肩を組んでの校歌の斉唱。千鳥足の会員もいましたが、宴会場ではガラ声・黄色い歓声・失笑が響きながら、なんとか母校のますますのご活躍をお祈りできました。

小田原市役所櫻和会(251人)は、隔年で日帰りと宿泊で、総会を実施しています。

今年は5月24日に「ホテルおかだ」で総会を開き、顧問の加藤憲一市長(高35)、加部裕彦副市長(高22)、来賓として同窓会本多高弘副会长(高26)・小田原高校岩本明子副校长(高33)、県庁小田高会河鍋章太郎(高33)をお招きし、盛大に行なうことができました。

今回も宿泊のため、ゆかた姿が多いリラックスムード。まずは、座間亮前会長(高31)のあいさつで開会となり、今年度の新会員の一藤木延子(高38)さん、久保寺達也(高66)さん、大胡田早紀(高67)さん、笠松裕太(高67)さん、内田早也花(高67)さん、吉川万勝(高67)さんの6名がステージに整列し、自己紹介。会場は大きな期待と、温かい拍手で包まれました。新役員の改選、乾杯を経て、大抽選会と、会は一気に盛り上がり最高潮。

最後は、恒例の参加者全員で肩を組んでの校歌の斉唱。千鳥足の会員もいましたが、宴会場ではガラ声・黄色い歓声・失笑が響きながら、なんとか母校のますますのご活躍をお祈りできました。

## 地域・職域同窓会の動き

### 県庁小田高会

先までご一報ください。  
資料委員と校史ガイド募集中!

### 資料委員と校史ガイド

募集中!

5月25日に小田高の櫻友会室で第2回準備会を開催しました。

前年に櫻友会室(同窓会事務室)で校史資料や企画展について検討していました。校史ガイドは公開時に説明を行います。ご関心ある方は問合せ先までご連絡ください。

資料委員は毎月1回、日曜日の午前中に櫻友会室(同窓会事務室)で校史資料や企画展について検討しています。校史ガイドは公開時に説明を行います。校史ガイドは公開時に説明を行います。ご関心ある方は問合せ先までご連絡ください。

### 小田原市役所櫻和会

小田原市役所櫻和会(251人)は、隔年で日帰りと宿泊で、総会を行なっています。校史ガイドは公開時に説明を行います。校史ガイドは公開時に説明を行います。ご関心ある方は問合せ先までご連絡ください。

櫻和会会長 杉本錦也(高33)

総会は、年齢の幅も広く、様々な職種の会員が集い、会員相互の貴重な情報交換や交流の場となります。これからも同じ窓に学んだ者同士、積極的に参加を呼びかけ、幅広い世代の人と人との繋ぐことで、県庁小田高会をさらに活性化させるよう努めていきたいと考えています。

幹事長 岡田久（高39）

## 湯河原地区 小田高会

5月18日、令和元年度の総会を開催しました。岩本明子副校長（高33）、津田憲一郎同窓会長（高20）、蛭田克美東京会幹事（高15）を来賓に迎え、湯河原駅前のホテル城山に会員35名の出席をいただき、事業報告、事業計画について審議をしました。

また講演では、湯河原出身の山口学（高16）氏（関電工特別顧問）から、3・11東日本大震災の際、福島原発の電源確保のため壮絶な闘いがあったことについて、スライドを交えお話をいただきました。

本会は今年度も、地域貢献をする同窓会として、海岸清掃、幕山夫婦を図るボーリング大会、パークゴルフ大会なども予定しています。

6月5日、小田中・小田高東京会にお招きをいただき、参加させていただきました。会場で出席者名簿を見た時に、川邊介伸（高15）さんのお名前がありました。卒業後茅場町に就職した時、同じ会社で働いた先輩

兼同僚です。50年の歳月が過ぎていましたが、思わず大きな声で再会を喜びました。こんな機会を与えてくれた東京会に大変感謝しています。全く個人的なことですが、今も週4回、城山コートでソフトテニスを楽しんでいます。

小澤稔（高16）

## 税理士権友会

税理士権友会の第26回定期総会が令和元年6月7日18時より小田原駅前喜仙に於いて開催されました。

梅雨模様の天気にもかかわらず、会員総数46名中18名が参加し早速議事に入りました。

事業報告、会計及び監査報告が無

事承認可決されたのち、「小田高同窓会」と「がんばれ！小田高応援基金」への寄付議案が上程され、本年も心ばかりでありますが、寄付をさせて頂くことになりました。

総会後の懇親会では、林忠校長（高31）、蛭田克美同窓会交流委員長（高15）をお迎えし、先述の寄付の贈呈式が行われました。当会にお二人の同級生が在籍しており、当時の話で盛り上がる中、翌日が小田高祭ということでパンフレットをお持ちいたいたため、在校生の活躍ぶりもうかがい知ることができました。

最後には、恒例の校歌、応援歌の合唱です。

毎回、歌詞カードを用意しておりますが、みなさん、それに頼ること

なく、元気に合唱し無事終了いたしました。



今年も寄付  
小嶋会長から林校長へ

## 第27回八幡山を語る会とその後

例年のように、秋の名月にあわせて、昨年の10月19日、小田原の「うおがし」で開催。会員16名中6名出席の筈が、直前に2名が体調不良で欠席、大変慌てたが、数学の小嶋勲、英語の篠野照雄、生物の原田郁上がった。

因みに、私事ですが、奥津裕は、社会の奥津裕が集い、旧交を温め、教え子たちの話題に大いに盛り

31、蛭田克美同窓会交流委員長（高15）をお迎えし、先述の寄付の贈呈式が行われました。当会にお二人の同級生が在籍しており、当時の話で盛り上がる中、翌日が小田高祭といふ大会なども予定しています。

6月5日、小田中・小田高東京会にお招きをいただき、参加させていただきました。会場で出席者名簿を見た時に、川邊介伸（高15）さんのお名前がありました。卒業後茅場町に就職した時、同じ会社で働いた先輩

来年のオリンピックを控え、今年も来年も、八幡山を語る会を拡充開催したいと考えている。

世話人 奥津裕（中44・高2）  
藤田和雄



元気な証、写真に撮って

## 神奈川県警察 八幡会

八幡会は、神奈川県警察の現役職員及びOBで構成されており、現在

会員は約60人です。例年、12月の第一土曜日に懇親会を開催しています。

平成30年は、12月1日に小田原駅前の老舗和食店「魚がし」において、18人が参加し、懇睦を深めました。

懇親会は、片山真会長（高33）の挨拶に始まり、来賓としてお越しいただいた津田憲一郎同窓会長（高

道部、剣道部、野球部等面倒をみた教え子たちに声をかけられ、教師冥利につき、意欲的に地域活動10団体以上の責任者として農業の合い間に専念できるのも、小田高卒業生のお陰と感謝している。

20) と岩本明子教頭（高33）から挨拶を頂戴し、乾杯となりました。  
例年と比べ、今次懇親会の参加人数は18人と少なくなってしまいましたが、高15回の先輩から高63回の現役警察官までと実に歳の差が4回りやはり若い現役職員は、当初、緊張の面持ちでしたが、片山会長と岩本教頭先生が、更には津田権友会会長と杉本（高20）先輩が同級生で久方ぶりに再会したなどのエピソードを拝聴し、緊張もほぐれ、世代を超えた和気あいあいとした雰囲気の中で宴は進みました。

会の終わりには、全員で校歌を熱唱し、堅忍不拔、至誠無息の精神で職責を全うすることを確認しあい閉会となりました。

橋本聰（高48）

## 第29回 小田中・小田高 東京会



冠たる伝統



講演する山口氏

校歌を斉唱し閉会。  
次回は来年6月3日（水）にプラザエフで開催予定。

事務局・蛭田（高15）

は、4月24日富士ファーム神奈川事務所が開設され、30周年記念式典が行われました。

## 富士ファーム懇友会

椎野公夫（高28）

この会は、先輩と後輩が年代や時代を超えて交流の輪を広げる絶好の機会であり、最後には参加者全員が円陣を組んで校歌斎唱を行い、来年の再会を約束し会は盛況裏に閉会いたしました。

この会は、「仕事への誇り、使命感」を講演。林校長（高31）のご挨拶と音頭で乾杯、会食・歓談。その後、全員が10グループに分かれて熱心に懇親。応援団OB、志村（高20）、星崎（高26）、山崎（高27）三氏の指導で応援歌・

## 横浜銀行 小田中・小田高会

## 横浜銀行 小田中・小田高会

当会は横浜銀行の行員とその出身者からなる職域同好会で、現在は80名程の会員により構成されています。

今年は母校より2名の新入会員が加わり、10月19日から一泊二日の日程で、自然豊かな庭園を有する箱根湯本温泉郷、「吉池旅館」において、40名程の会員の参加による年次総会を開催いたしました。

総会の冒頭、小田原支店長の山本博文幹事長（高36）が、箱根地方に記録的な大雨をもたらした台風19号34）からも「一日も早い復興のため

に地域金融機関として、全面的なお手伝いしていきたい」との決意を示す挨拶のもと、総会が開催されました。

その後、「富士クラブ」にて懇親会を開催し、江木徹彦副会長（高16）の進行で、奥津博会長（高16）の挨拶から始まり、来賓の小田原高等学校新校長林忠（高31）氏と権友会会長津田憲一郎（高20）氏よりご挨拶を頂きました。大橋梓（高2）様の乾杯の挨拶で懇談が始まりました。尚、大橋様は挨拶の途中で体調を崩され、緊急搬送されました。その後、懇談が進む中、津田貞夫（高3）様による中締めの挨拶の後、江木副会長等の指導で、「小田原高校校歌」を歌い、閉会挨拶で終了しました。

また、病院に緊急搬送された大橋梓様は、数時間後に亡くなられました。ご冥福をお祈りいたします。

事務局長 佐野益夫（高19）

業所足柄サイトで32名の会員出席のもと開催しました。30年度の活動報告・決算報告と令和元年度の運営・活動計画を決定しました。

記念講演には、石川寿一（高12）様による「50年間で巡った世界109地区の旅・未知の国での印象深い出来事や学んだコト」の演題にて、在職中から始めた海外旅行での体験談やその地で学んだこと等非常に興味深いお話をお聞きしました。

20) と岩本明子教頭（高33）から挨拶を頂戴し、乾杯となりました。  
例年と比べ、今次懇親会の参加人数は18人と少くなってしまいましたが、高15回の先輩から高63回の現役警察官までと実に歳の差が4回りやはり若い現役職員は、当初、緊張の面持ちでしたが、片山会長と岩本教頭先生が、更には津田権友会会長と杉本（高20）先輩が同級生で久方

ぶりに再会したなどのエピソードを拝聴し、緊張もほぐれ、世代を超えた和気あいあいとした雰囲気の中で宴は進みました。

会の終わりには、全員で校歌を熱唱し、堅忍不抜、至誠無息の精神で職責を全うすることを確認しあい閉会となりました。

当会は横浜銀行の行員とその出身者からなる職域同好会で、現在は80名程の会員により構成されています。

今年は母校より2名の新入会員が加わり、10月19日から一泊二日の日程で、自然豊かな庭園を有する箱根湯本温泉郷、「吉池旅館」において、40名程の会員の参加による年次総会を開催いたしました。

総会の冒頭、小田原支店長の山本博文幹事長（高36）が、箱根地方に記録的な大雨をもたらした台風19号34）からも「一日も早い復興のため

に地域金融機関として、全面的なお手伝いしていきたい」との決意を示す挨拶のもと、総会が開催されました。

その後、「富士クラブ」にて懇親会を開催し、江木徹彦副会長（高16）の進行で、奥津博会長（高16）の挨拶から始まり、来賓の小田原高等学校新校長林忠（高31）氏と権友会会長津田憲一郎（高20）氏よりご挨拶を頂きました。大橋梓（高2）様の乾杯の挨拶で懇談が始まりました。尚、大橋様は挨拶の途中で体調を崩され、緊急搬送されました。その後、懇談が進む中、津田貞夫（高3）様による中締めの挨拶の後、江木副会長等の指導で、「小田原高校校歌」を歌い、閉会挨拶で終了しました。

また、病院に緊急搬送された大橋梓様は、数時間後に亡くなられました。ご冥福をお祈りいたします。

事務局長 佐野益夫（高19）

## 同期会の動き

### 中44・高2 激動の6年間、米寿を生む

今年は八十八歳の米寿。よくぞ、戦中、戦後の動乱の中を生き抜き、米寿にまで輝いてきたものである。

中学、高校6年の八幡山生活で心身を鍛えられ、なかでも軍事教練や報国寮、工場勤務や機銃掃射の中を耐えぬき、戦後の食糧難や心身の荒廃の中、校訓「堅忍不拔」、「至誠無息」を旨として、幾多の困難を乗り越えてきたものである。誠に天晴なものである。それもこれも、6年間の中学校、高校の固い絆で結ばれた盟友のお蔭と思っている。

今年も、3月30日、21名で、懐かしき古城の覇者を偲びながら、総会、懇親会を小田原の料亭「柏又」で盛大に開催。古木弘久君の努力で完成した手づくりの「会員だより16号」のお陰で、紙上参加もあり、学友、物故者の遺族等の交流を深めることができて何よりであった。

月1回の有志の定例会も開催されていて、ますゝ意氣盛んなものを感じている。来年度も再来年度も会費の残余があるるので、役員一同、頑張って続けていく所存である。

幸いにも、幹事の村田道治 古木弘久、坂上功、奥津裕の4名、皆さんとても元気であるのが何よりで嬉しい。



今年も元気に21名が出席

### 「5回生の教室」開店休業 令和2年には再び時局講演でも

幹事長 奥津裕

令和元年の同窓会総会の日、ことしも「5回生の教室」を設けました。しかし古城の覇者を偲びながら、総会、懇親会を小田原の料亭「柏又」で盛大に開催。古木弘久君の努力で完成した手づくりの「会員だより16号」のお陰で、紙上参加もあり、学友、物故者の遺族等の交流を深めることができて何よりであった。

今年も、3月30日、21名で、懐かしき古城の覇者を偲びながら、総会、懇親会を小田原の料亭「柏又」で盛大に開催。古木弘久君の努力で完成した手づくりの「会員だより16号」のお陰で、紙上参加もあり、学友、物故者の遺族等の交流を深めることができて何よりであった。

### 桜九会はセミファイナル

常任幹事

田島邦典

飯田和男 宮倉正弘

JR小田原駅西口（新幹線口）から箱根登山バス「こどもの森（わんぱくらんど）」行き、午前9時10分発（午前中は毎時10分発）に乗ってください。小田高前の次の相洋高校前で下車。ここから小田高通用門（裏門）へ。朝の澄んだ空気のなかを歩きませんか。



「堅忍不拔」の鉢巻きで校歌・応援歌を齊唱  
撮影：福井三起

### 高11だより

#### 小田高11期生 (1)

「第2回小田高11期生の『個』展」を11月15日～30日に宝安寺社会事業部「茶のある」にて開催し、総勢37名からの出展がありました。

出展者数は前年の10名を大幅に上回りましたし、出展品も、絵画、写真、陶芸品といった「個展」でもおなじみの芸術作品の他に、俳句、短歌、川柳から各種レポート、更には魚拓に至るまでの多彩な内容で、「個展」らしさが増してきました。

また、2組では来観に訪れた女子会5名とともにミニクラス会を開いて、クラスメートの出品品をたがいに観賞しあつておりました。

4組・6組も合同クラス会を開き、これに3組・8組メンバーも加わって、出展者は楽しそうにそれぞれの出展品を紹介し、聴く方も熱心に聴き耳を立てて、クラスメート間の「お

のでしよう。期待されていた?のかな、次は再現か。

この日は、同窓会資料が整備された南館3階で、読売新聞がスクープした作家川崎長太郎の旧制小田中・退学処分の関係資料や、国会図書館級の貴重な古書、窓梅会（小田原城内高同窓会）資料を鑑賞、思い出を愉しました。

同期のみなさん、令和2年5月の「5回生の教室」には是非参集を。あの百段坂が応え、行けないよ」というご同輩には、百段坂の回避の秘策です。

18日に開かれた。人間、冥土に近づくと「幼児帰り」をすると言われて、登壇者を「チャン」呼びをして、和やかな会にしようと「チャン大会」に決めた。

今年、32回目の「桜九会」は5月16日(土)東京オリンピック記念の「桜九会」はファイナル興行です。いるが、登壇者を「チャン」呼びをして、和やかな会にしようと「チャン大会」に決めた。

出席。今年、32回目の「桜九会」は5月16日(土)東京オリンピック記念の「桜九会」はファイナル興行です。向かっての、安藤泰与チャンの手締めで終わつた。豪の者は、二次会、是非、万障繰り合わせ、ご参加下さい。

締めの言葉と、来年のファイナルに向かっての、安藤泰与チャンの手締めで終わつた。豪の者は、二次会、是非、万障繰り合わせ、ご参加下さい。三次会へと続いた。

### 次回予告

常任幹事 奥津和彦

まずは最初に、カメラマン福井三起チャンの集合写真撮影。事務局・沓澤隆哉チャンの開会挨拶と乾杯。30分、青春時代の思い出話等の歓談後、何でもコーナー。秋山三郎チャンが、趣味で練習中のカンツォーネ「オーランレ・ミオ」を、アカペラで独唱。原語の歌唱にヤンヤ、ヤヤ。例によって吉田昇司チャンの落語。この後も30分、終活の話や、孫の話やら。そして最後はパンカラ風を取り、大好きな桜友会の記念品の鉢巻きを締めて、応援歌・コチヤエ節・校歌の齊唱。円陣を組み、八十路の老骨をムチ打ち頑張った。

出展物を紹介し、聴く方も熱心に聴き耳を立てて、クラスメート間の「お

互い再発見」を楽しんでいました。もともとは、人口が23万人だった頃に町田市が市民の「心と心をつなぐ」イベントとして始めた『町田市23万人の個展』をモデルとして始めたのですが、ようやく11期同期生の「心と心をつなぐ」ためのイベントとなりました。多くの一般小田原市民がひつくりなしに来訪し私たちの「個」展をご覧になっていたようです。なかでも市川陸雄委員長（6組）、中澤秀夫さん（7組）と佐々木洋（3組）が入会しているラジオ体操「和みの会」メンバーは特に熱心に来観されしていました。11月19日に来観された浅田絢子会長は開口一番「去年は寂しかったけど今年はすごい出展量ね」と驚きました。「今年は寂しかったけど今年はすごい出展量ね」と驚きながら「丁寧に見て回っていました。後日浅田さんにお聞きしたところ、持ち帰られで読まれた榮憲道さん（6組）の短歌集の印象度が一番だとのことでした。短歌集ばかりではなく、一般の展示会では見られない出展物が多かったことが来観者の目には新鮮に映つたらしく、「このような作品に出会える『個』展は素晴らしい」という評価もなされていました。

「小田高11期生の『個』展」の終了日（11月30日）には、合計21名の皆さんのが終了茶話会と作品搬出に参加されました。言つてみれば「ミニ巡回クラス会」のようですが、ここで作品搬出に入る前に出展作品の紹介をし合いました。このような形で、11期生同士で「交流」と「制作」の喜びを共感しながら「お互い再発見」をすることができる機会が増せば、より広く深く「コミュニケーションの場」として楽しみあうことができるのでという確信を新たにして有終の美を飾ることができました。



小田原市長を囲んで

田高の後輩である加藤市長の目にも不肖の先輩の行状は目に付いた様子で、「ほう、こんな形のコミニケーションもあるんだ！」と、ひとしきり感心していました。

今年も11期生主催公開講演会を開催

今年も11期生主催公開講演会を開催  
平成23年から継続実施している  
「桜友祭」(OHC'D)での「11期生  
主催公開講演会」を、5月12日、小  
田原高校第一会議室にて開催し、石  
黒駒士さん(1組)が「小田原蒲鉾  
の歴史と発展」と題する講演を行な  
い、79名の皆さんに受講いただきま  
した。

「小田原近くに住む（住んだ）ものからしかできない」と材料全てに徹底的にこだわり抜く姿勢を変えず経営に携わってこられました。それだけに講演の内容も実践的で、以下のようなアンケートが相次いで寄せられました。



高11回 集会

せたい。日常的に食べてもらえる新しい焼り製品を提案したい」という意気込みを併せて感得することができました。何よりも、「妥協するのは簡単。目線が高ければ自ずと良いものが生まれる。常に志を高くして取り組んでいきたい」という心意気をもって今も第一線に立ち続ける石黒駒士さんの若々しい姿が同期生一同に「新たな挑戦」を促す良き刺激になりました。講演会の事後に銀座ライオン小田原駅前店で行われた懇親会にも34名の11期生が馳せ参じてますます盛んな懇親会を楽しむことができました。

なお、私たち11期会は、「新・小田原高校の同窓会活動」の意識のもとに城内高校同窓生の参加を呼びかけていますが、今回の講演会も計9名の城内高校同窓生の参加を得ることができました。

**高13回 喜寿同期会  
86名で盛り上がり**

令和になつてすぐの5月27日に開催しました高13回喜寿同期会は、86名の参加を得てにぎやかなうちに終りました。

日本酒「久保田」や抽選用にペア宿泊券や食事券などの寄贈を受け、雰囲気作りに大いに貢献してくれました。最後は数名のリードで、60年前の若さに戻って応援歌や校歌を大合唱。感慨も一入でした。

次回は、80才を過ぎた令和5(2023)年5月をメドに「傘寿を過ぎたぞ！同期会」を開催する予定です。

## 高16回 同期会

す。皆さん、それまで健康長寿でいましょ。

代表幹事 星崎晃(5組)



高13回 喜寿同期会

10月27日正午から「銀座ライオン 小田原トザンイースト店」で開催された。参加者は62名。3年4組が持



16回同期会 校歌斎唱

斎唱、門松武則君のリードで応援歌「冠たる伝統」を声高らかに合唱後、代表幹事が5組の國分尚君を指名し、前田平八君の指揮による「校歌」

2時間半の宴はあつという間に過ぎ、前田平八君の指揮による「校歌」

齊唱、門松武則君のリードで応援歌「冠たる伝統」を声高らかに合唱後、

代表幹事が5組の國分尚君を指名し、

2時間半の宴はあつという間に過ぎ、前田平八君の指揮による「校歌」

齊唱、門松武則君のリードで応援歌「冠たる伝統」を声高らかに合唱後、

代表幹事が5組の國分尚君を指名し、

見常一君、山崎一夫君、山崎武彦君、啓三君、市村博君、瀧本泰行君、二

に黙祷を捧げた。

4組の代表幹事役の杉山から、今

回は①会場を初めてこの場所にしたこと、②案内通知に次回の案内を辞退するという項目を設けたこと、③

クラスごとの席ではなく自由席としたことの三つの新しい試みを紹介した。続いて、川瀬操君の乾杯の発声

で宴の始まりとなつた。特に自己紹介や催し物はなく、それぞれの席で

大いに飲んで、大いに語つて、大い

に食つた楽しいひとときとなつた。

◆ 令和2年10月24日(土)午後3時から 報徳会館

代表幹事 小瀬純一

## プレイバック 「青春時代」 高28期同総会

有志 相田薰 神保宗正  
早川隆巳 樋口正人

氏名・メールアドレス・携帯電話番号・その他(住所変更など)を至急次の連絡先までご連絡ください。



高25 タイムカプセル埋設地

小田高卒業から43年。平成30年12月2日、恩師島津昭二先生と伊藤晋

次回の開催を依頼した。最後に一寸木昭君の閉会の辞で盛会のうちに開きとなつた。

代表幹事 杉山喬彦

## 高21回 同期会を 令和2年10月に開催します

昭和45年当時の1年3組が文化祭に出展したタイムカプセルは、埋設後50年となる来年に開封する予定となっています。

## 高25回1年3組の皆さんへ タイムカプセルの開封迫る

逝去された同期生17名と恩師への黙とうの後、開会の言葉、恩師による乾杯、あいさつ、クラスごとの写真撮影と続きました。できる限り多くの仲間と触れ合ってほしいと、テーブル配置を3年次クラス→2年→1年→フリーと転換することとした。会場の音楽として、在校当時のヒット曲より「あなた」「わたしの彼は左きき」「ロマンス」を流しました。また、卒業アルバム、「小田原高校百年の歩み」CD-ROM、小田高に提供いただいた資料を素材に幹事が編集した在校当時から現在までの画像や映像を皆で楽しみ、昔話に花を咲かせ、大いに盛り上がりました。



図師あいさつ



## 還暦同窓会に136名

高39  
同期会

高31の皆さんへ

同期会開催

2021年1月23日（土）に同期  
会を開催します！（予告）

詳細は、後日、案内状をお送りし

ます。

問い合わせや  
メールの頭に [高3同期会関連]  
[kenyukai@odako.org](mailto:kenyukai@odako.org)

文中にご自分のアドレスを入れて下さい。

九月

歸9  
兩思錄

2013年10月3日 第3回定期会

2018年10月1日は第6回目となる高39回同期会を報徳会館にて開

催し、同期150名が参考し旧交を  
ポカポカに温めました。恩師からは

二先生をお迎えし、高校28期生百十  
名が報徳二宮神社報徳会館に集結し  
ました。還暦を迎えた前年より、同  
期生から「同窓会をやろうよ」の声  
が数多く届き、協力呼び掛けに応じ  
てくれた12名の幹事が打ち合わせを  
重ね、当日を迎えました。

した。『小田高は我々の青春だった。』小田高に入学して本当に良かった。』との言葉が飛び交いました。途中、外国で暮らす同期生の映像紹介などもあり、濃密な3時間があつという間に過ぎ、最後は全員で校歌を高らかに歌い、盛況裏のうちに閉会いたしました。

次回の同窓会は3年後を予定しています。連絡先変更などについては常任幹事（神戸・竹井）までお知らせください。

平成30年11月10日午後、136名の同窓生一同が、箱根湯本の富士屋ホテルに会し、盛大に還暦同窓会が開催されました。開催に当たり、同窓会からは同期会結成補助をいたなくとともに、校史展示室等の案内もしていただき感謝しております。また、小田原高校の岩本明子教頭（現副校长）（高33）に新校舎を案内していただき、参加者はとても感激しておりました。今後の開催については検討していく予定ですが、同窓生の皆様にご紹介し、是非、母校訪問等の企画を設定することをお勧めします。百段坂を42年ぶりに登る感激は一入と思います。

谷亀先生、程島先生のご出席を賜り  
ありがとうございました。

うことで輪を一層拡げ、楽しく時間を共有できるよう呼びかけを行いました。特に同期女性の多くが、育児や家事から手を離し、自分の時間を持てるようになってきたことから高校同期という縁やネットワークを呼びかけは、同期会ならではの意義ある企画になったようです。

(7回)の同期会は2023年に開催され、毎年定期開催している次回



平39.6回目の同期会に150名

常任幹事  
唐鑑大介  
風間玲子





## 会員通信

元年度同窓会総会への返信等から（概要）

道部、水泳部、そして活動を再開した柔道部のOB会13部が加盟し、OB会相互の情報交換、在校部員への後援や前年度優秀選手の顕彰などの活動を行っています。

7月7日に小田原市民交流センターUME COで、林校長（高31）を来賓としてお招きし、「令和元年度総会」を開催しました。総会の後

は定番となつたHaRuNeおだわらの海鮮横丁うおくにへ会場を移し懇親会。各部顧問の先生が近況報告、決意表明をされるなど、大いに盛り上がりました。懇親会の終わりには鈴木紀雄（高19）さんの音頭によるエールで、会の発展と運動部の活躍を祈念しました。

小川恭一（高15）



創立50周年記念図書館（※）



\*原則として頂いた文面をそのまま掲載しました。なお、住所や姓の変更やご逝去のお知らせ、生前のご友誼へのお礼、会報郵送停止などの窓会への事務連絡、ご挨拶のみや役員への労い、掲載にふさわしくないと判断したものなどは掲載しておりません。



至誠無息



ご冥福をお祈りいたします

訃  
報



鎮遠の鐘（※）



(1) 小田高祭への参加  
2019年6月8日、9日の両日、  
以下を実施する。  
○校史展示室・教材展示室・図書展  
示室の公開

## 予算・決算の状況

(单位: 田)

科 目	2019年度 予算額	2018年度 予算額	2018年度 決算額
<b>[収入の部]</b>			
繰 越 金	1,166,360	995,006	995,006
入 会 金	1,575,000	1,560,000	1,555,000
会 費	5,784,000	5,580,000	5,824,000
寄 付 金	10,000	100,000	152,000
諸 収 入	753,640	755,994	839,176
繰 入 金	400,000	—	—
<b>合 計</b>	<b>9,689,000</b>	<b>8,991,000</b>	<b>9,365,182</b>
<b>[支出の部]</b>			
事 務 費	1,132,000	1,091,000	971,246
事 務 局 費	390,000	340,000	350,028
事 務 局 会 議 費	150,000	180,000	112,453
常 任 幹 事 会 費	180,000	190,000	168,054
校 内 幹 事 費	10,000	10,000	0
会 員 連 絡 費	20,000	20,000	8,176
涉 外 費	80,000	50,000	56,632
消 耗 備 品 費	90,000	90,000	70,803
雜 費	212,000	211,000	205,100
<b>事 業 費</b>	<b>7,257,000</b>	<b>6,700,000</b>	<b>6,265,550</b>
桜友祭・総会費	800,000	800,000	698,689
入会記念品費	478,000	450,000	432,232
総務委員会費	300,000	260,000	197,778
交流委員会費	220,000	200,000	199,152
広報委員会費	70,000	60,000	48,753
資料委員会費	60,000	60,000	59,606
校歌祭委員会費	500,000	530,000	451,713
会報発行費	3,539,000	3,470,000	3,388,577
広報費	270,000	250,000	248,618
地域職域同窓会費	270,000	270,000	238,000
同期会結成費	150,000	150,000	100,000
補 助 費	200,000	200,000	202,432
校史展示室費	400,000	—	—
120周年記念事業費	600,000	600,000	562,026
教 育 費	400,000	400,000	400,000
積 立 金	300,000	200,000	0
<b>合 計</b>	<b>9,689,000</b>	<b>8,991,000</b>	<b>8,198,822</b>

母校は平成22（2010）年に創立百十周年を迎えました。創立百十周年記念事業の一環として、2年3月に創立百十周年記念史『小原田原高校百周年から十年の歩み』を発刊しました。B5判、縦書、二段組、316ページです。実費1,000円（送料別）にて販売しておりますので、書籍宛、または同窓会ホームページからご注文ください。お支払い方法



○創立百十周年記念史のご案内

購入のお説い

2019年度  
事業計画

## 事業計画

1 活動目標

(1) 同窓会事業への会員参加の促進  
「現役事業・会費換算会」の答申

一新規事業会員の各事業の一層の充実を図るとともに、継続事業を確実に推進し、会員の参加を呼び掛けていく。

(2)小田高創立百二十周年記念事業の実施準備

## 2 委員会の活動

各委員会の事業計画については省略します。詳細はホームページをご覧ください。

### 3 覧ください。 その他

2019年6月8日、9日の両日、  
以下を実施する。

。校史展示室・教材展示室・図書展

。一般教室に「同窓会コーナー」を設置し、桜友祭で実施する「活躍する同窓生」のパネル展示他を行う。(2)各種役員に多くの女性が参加するように、引き続き呼び掛けを行う。(3)米国メリーランド州ウォルト・ホィットマン高校との交流活動の支援を行う。(4)事務局員の複数化に向けた取り組みを引き続き進める。

## 資産の状況 (2018年度)

2019.3.31現在  
(単位:円)

<b>1 基本金</b>	24,973,782
(1) 横浜銀行 定期預金	11,529,914
(2) さがみ信用金庫 定期預金	13,443,868
<b>2 記念事業積立金</b>	2,790,718
(1) 横浜銀行 定期預金	2,790,718
<b>3 名簿会計積立金</b>	0
(1) さがみ信用金庫 普通預金	0
<b>4 一般会計保管金</b>	16,447,943
(1) 横浜銀行 普通預金	3,458,853
(2) 郵便局 振替口座	11,822,730
(3) ゆうちょ銀行 普通貯金	1,100,667
(4) 現金（小口資金）	65,693
<b>合 計</b>	<b>44,212,443</b>

\*総会で報告された予算・決算をお知らせいたします。

詳細はホームページをご覧ください。

**名義後援の制度があります！**

同窓会では、名義後援の承認手続きに関する要綱を制定し、名義後援の制度があります。

名義後援とは、会員である個人又は各種団体等が実施する事業等に対して、同窓会が経費等の負担をせず単に後援の名義を使用させることをいいます。

名義後援を希望される場合には、P36同窓会連絡先宛てにお問合せください。

は書籍に同封してお送りいたします。  
認め得て、リストを常時更新してお  
ります。

認を得て、リストを常時更新してお  
ることが出来ます。

◆「八幡山」をホームページで見る  
（1頁5段のうちの最下段の半分）

（2）横17.8cm×縦4.5cm  
（1頁5段のうちの最下段）  
（3）横17.8cm×縦9.6cm  
60,000円

◆納入はコンビニ・郵便局などで  
届けられます。

◆運動部等生徒の激励、新入会員記念  
品の贈呈など、さまざまな会の運営  
の源泉になっています。

□ 絵（カラーページ）  
序章 豊かな実りを求めて  
第一章 再編統合と単位制への移  
行

第二章 学力向上進学重点校と教

第三章 新校舎落成と新グラウン  
ド完成

第四章 創立百十周年記念事業

第五章 生徒会

第六章 PTA

第七章 同窓会

資料集 年表

○小田高絵葉書  
母校の絵葉書を作りました。校  
訓扁額、檜林（セピア）、鎮遠の鐘、  
創立五十周年記念図書館、旧体育館、  
初代櫻葉館、上庭の木造小屋（セピ  
ア）、第四代校舎、航空写真（西か  
ら撮影）、航空写真（南東から撮影）、  
航空写真（北東から撮影）があり、  
本号の各所に掲載しています。（キ  
ヤプショーンに※が付いています。）  
1枚100円（送料別）。ご購入は  
P36同窓会連絡先宛てにご連絡くだ  
さい。

◆投稿先  
メールの場合は、kaih@odako.  
org宛てにお送りください。  
FAX、郵送（私書箱）による場  
合は、P36同窓会連絡先宛て投稿を  
お願いします。

◆提出期限  
2020年9月1日  
原稿が遅くなる場合はご一報くだ  
さい。

## 第32号「八幡山」の 原稿募集と投稿先の お知らせ

同窓会事務局（P36同窓会連絡先）  
まで、お知らせくださいますようお  
願い申し上げます。

会報や同窓会ホームページに原稿  
を掲載する際、個人が特定できる氏  
名や写真等が含まれる原稿をご投稿  
いただけば、必ずご本人の事前の  
承認を受けていただきますようお願  
いいたします。

広告料のお支払いは、お申込をい  
ただく際は、必ずご本人の事前の  
承認を受けていただきますようお願  
いいたします。

（1頁5段のうちの下2段）  
（3）横17.8cm×縦9.6cm  
60,000円

（1頁5段のうちの最下段）  
（3）横17.8cm×縦9.6cm  
60,000円

・ATM、ダイレクトバンキングの場合  
オダコウ タロウ コウ45

但し、ゆうちょダイレクトの場合、  
ご依頼人番号に卒業回数を記入願い  
ます（中学卒業生の場合は先頭に0  
(ゼロ)をつけてください）

◆終身会費が人気です

60歳以上の方は、年齢に応じた金額（60歳は5万円で1歳上がるごとにマイナス3千円。70歳以上は一律2万円）を納入することができます。

ご利用には「郵便局の払込取扱票」が必要です。詳しくは同封の「終身会費制度のご案内」をご覧ください。

### 小田高応援基金から の報告

「がんばれ！小田高」応援基金は本年度で12年目となります。昨年度までにご寄付いただいた方はのべ千二百九十人・35団体に及びます。

毎年ご寄付くださる方も多く、同窓生の皆様のご芳志に運営委員会一同心より御礼申し上げます。しかし

ながら発足当初に比べますと寄付額は徐々に減少しておりますので、皆様に状況を知っていたとき、ご協力いただけよう努めてまいりたいと思います。

最近の支援の内容は、体育館見切幕の購入および生物教室の剣製等の劣化を防止するためのLED照明工事代等です。

### ◆寄付のお申込み方法

一口千円で、一口以上。左記の□

座への振込み（払込み）をお願いします。「いつでも」「いくらでも」「何回でも」できます。

○郵便局（ゆうちょ銀行）からの払

い込み

□座記号番号：00250-8-8

1599

加入者名：「がんばれ！小田高」応

援基金

○郵便局以外の金融機関（銀行、信

金）からの払い込み

銀行名：ゆうちょ銀行

金融機関コード：9900

店番：029

預金種目：当座預金

店名（カナ）：〇二九店（ゼロ二キユウ店）  
口座番号：0081599

加入者名（カナ）：「ガンバレオダコウエンキン」（カタカナ表示になります）

学習や部活に全力で取り組んでいる小田高生を支援するため、皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

同窓会が発展するためには、同期会の結束・活性化が不可欠です。そこで、同窓会では、各卒業期が新たに同期会を結成する場合には、5万円を限度として、補助金を交付しています。ぜひ、ご利用ください。

**補助金をもらつて  
同期会を始めよう！**

### 同期会結成補助金交付一覧

2019年10月まで

No	卒回	申請者	申請日	交付日	開催日・会場・人数等
1	高52回		2005/2/14	2005/2/15	2005/1/2 味澤 107人
2	高20回		2005/9/20	2005/9/20	2004/11/13 小田原市民会館 80人
3	高53回		2006/3/31	2006/3/31	2006/1/2 味澤 172人
4	高11回		2006	2006	2006/5/28 湯本富士屋ホテル 87人 来賓3人
5	高21回		2006	2006	2006/秋 報徳会館 123人 来賓8人
6	高41回		2008/8/25	2008/8/25	2008/8/30 湯本富士屋ホテル 110人
7	高19回		2009/5/1	2009/5/11	2009/5/17 鈴広 130人
8	高17回		2009/5/1	2009/5/11	2009/10/3 京王プラザホテル 100人
9	高32回		2011/4/25	2011/5/9	2011/5/15 報徳会館 114人 来賓4人
10	高34回		2011/5/20	2011/5/20	2011/7/31 湯本富士屋ホテル 186人 来賓4人
11	高46回		2011/6/10	2011/6/17	2011/7/17 報徳会館 120人 来賓7人
12	高18回		2012/10/31	2012/11/17	2012/11/10 小田原万葉の湯 107人 来賓3人
13	高26回		2013/2/20	2013/2/27	2013/3/2 小田原市民会館 90人
14	高56回		2013/5/4	2013/5/19	2013/5/4 報徳会館 190人
15	高24回		2013/7/9	2013/7/20	2013/10/26 湯本富士屋ホテル 79人 来賓1人
16	高39回		2013/10/11	2013/11/5	2013/10/12 報徳会館 150人 来賓9人
17	高64回		2014/2/22	2014/3/15	2014/2/23 Royal Manner Fort BelleJour 189人
18	高22回		2014/4/5	2014/4/19	2014/5/18 鈴廣「鈴の音ホール」 96人
19	高48回		2015/7/14	2015/9/12	2015/8/15 小田原万葉の湯 125人
20	高36回		2015/8/17	2015/9/12	2015/11/1 湯本富士屋ホテル 120人
21	高57回		2016/10/26	2017/2/4	2017/2/12 報徳会館
22	高40回		2017/8/10	2017/9/9	2017/9/2 小田原万葉の湯
23	高68回		2018/2/6	2018/3/27	2018/3/17 報徳会館 200人
24	高29回		2018/6/30	2018/7/14	2018/11/30 湯本富士屋ホテル
25	高28回		2018/9/16	2018/10/6	2018/12/2 報徳会館 100人
26	高59回		2019/3/2	2019/4/13	2019/3/9 報徳会館 90人
27	高30回		2019/10/5	2019/10/5	2019/10/26 報徳会館 130人

また、各同期会において、同期の住所録一覧（Excelファイル等）が必要な場合には、申請書に希望内容と連絡先PCメールアドレスを追記いただき、または、樺友会（kenyukai@odakoorg）宛てにメール連絡いただければ、対応いたします。  
☆なお、同期会開催後は、報告書を提出するか、会報「八幡山」に投稿をお願いします。

## 寄付金・会費納入状況(平成30年10月から令和元年9月まで)

卒年	会員数	亡	不明者	有効会員数	入金人数	入金額	入金率	卒年	会員数	亡	不明者	有効会員数	入金人数	入金額	入金率
旧教職員	929	239	268	422	7	28,000	1.66%	高12回(昭和32年~35年)	395	64	39	292	40	120,000	13.70%
小計	929	239	268	422	7	28,000	1.66%	高13回(昭和33年~36年)	390	59	30	301	36	108,000	11.96%
<b>中学校</b>															
中1回(明治34年~39年)	42	40	2	0	0	0	0.00%	高14回(昭和34年~37年)	407	62	54	291	32	96,000	11.00%
中2回(明治35年~40年)	41	37	4	0	0	0	0.00%	高15回(昭和35年~38年)	379	54	49	276	25	75,000	9.06%
中3回(明治36年~41年)	41	38	3	0	0	0	0.00%	高16回(昭和36年~39年)	386	59	26	301	24	75,000	7.97%
中4回(明治37年~42年)	41	38	3	0	0	0	0.00%	高17回(昭和37年~40年)	405	49	54	302	25	75,000	8.28%
中5回(明治38年~43年)	36	30	6	0	0	0	0.00%	高18回(昭和38年~41年)	528	60	70	398	32	96,000	8.04%
中6回(明治39年~44年)	52	39	13	0	0	0	0.00%	高19回(昭和39年~42年)	472	39	55	378	25	75,000	6.61%
中7回(明治40年~45年)	25	25	0	0	0	0	0.00%	高20回(昭和40年~43年)	485	30	85	370	29	87,000	7.84%
中8回(明治41年~大正2年)	56	44	12	0	0	0	0.00%	高21回(昭和41年~44年)	455	42	51	362	26	78,000	7.18%
中9回(明治42年~大正3年)	71	66	5	0	0	0	0.00%	高22回(昭和42年~45年)	435	41	71	323	32	96,000	9.91%
中10回(明治43年~大正4年)	57	52	5	0	0	0	0.00%	高23回(昭和43年~46年)	439	26	64	349	21	63,000	6.02%
中11回(明治44年~大正5年)	59	47	12	0	0	0	0.00%	高24回(昭和44年~47年)	429	13	100	316	26	78,000	8.23%
中12回(明治45年~大正6年)	63	54	9	0	0	0	0.00%	高25回(昭和45年~48年)	414	12	92	310	28	87,000	9.03%
中13回(大正2年~7年)	59	55	4	0	0	0	0.00%	高26回(昭和46年~49年)	411	15	112	284	26	78,000	9.15%
中14回(大正3年~8年)	84	75	9	0	0	0	0.00%	高27回(昭和47年~50年)	407	24	62	321	31	93,000	9.66%
中15回(大正4年~9年)	75	58	16	1	0	0	0.00%	高28回(昭和48年~51年)	405	17	79	309	27	81,000	8.74%
中16回(大正5年~10年)	95	89	6	0	0	0	0.00%	高29回(昭和49年~52年)	452	18	93	341	33	102,000	9.68%
中17回(大正6年~11年)	80	73	7	0	0	0	0.00%	高30回(昭和50年~53年)	445	11	137	297	23	69,000	7.74%
中18回(大正7年~12年)	94	77	16	1	0	0	0.00%	高31回(昭和51年~54年)	445	5	122	318	37	111,000	11.64%
中19回(大正8年~13年)	103	92	11	0	0	0	0.00%	高32回(昭和52年~55年)	453	12	68	373	68	207,000	18.23%
中20回(大正9年~14年)	113	99	14	0	0	0	0.00%	高33回(昭和53年~56年)	445	11	82	352	30	90,000	8.52%
中21回(大正10年~15年)	108	96	11	1	0	0	0.00%	高34回(昭和54年~57年)	451	7	55	389	34	102,000	8.74%
中22回(大正11年~昭和2年)	114	107	6	1	0	0	0.00%	高35回(昭和55年~58年)	455	5	115	335	24	72,000	7.16%
中23回(大正12年~昭和3年)	117	102	15	0	0	0	0.00%	高36回(昭和56年~59年)	445	10	90	345	15	45,000	4.35%
中24回(大正13年~昭和4年)	110	97	11	2	0	0	0.00%	高37回(昭和57年~60年)	403	7	118	278	20	60,000	7.19%
中25回(大正14年~昭和5年)	125	108	14	3	0	0	0.00%	高38回(昭和58年~61年)	454	9	125	320	10	30,000	3.13%
中26回(大正15年~昭和6年)	109	105	4	0	0	0	0.00%	高39回(昭和59年~62年)	465	6	149	310	21	63,000	6.77%
中27回(昭和2年~7年)	152	146	5	1	0	0	0.00%	高40回(昭和60年~63年)	456	2	156	298	16	48,000	5.37%
中28回(昭和3年~8年)	153	140	8	5	0	0	0.00%	高41回(昭和61年~平成元年)	469	8	107	354	19	57,000	5.37%
中29回(昭和4年~9年)	143	125	12	6	0	0	0.00%	高42回(昭和62年~平成2年)	513	3	114	396	17	51,000	4.29%
中30回(昭和5年~10年)	155	132	18	5	0	0	0.00%	高43回(昭和63年~平成3年)	477	2	113	362	12	39,000	3.31%
中31回(昭和6年~11年)	164	143	14	7	0	0	0.00%	高44回(平成元年~4年)	514	3	126	385	12	36,000	3.12%
中32回(昭和7年~12年)	150	134	13	3	0	0	0.00%	高45回(平成2年~5年)	456	4	126	326	12	36,000	3.68%
中33回(昭和8年~13年)	173	152	10	11	1	3,000	9.09%	高46回(平成3年~6年)	442	4	109	329	5	15,000	1.52%
中34回(昭和9年~14年)	168	144	7	17	0	0	0.00%	高47回(平成4年~7年)	439	2	103	334	8	24,000	2.40%
中35回(昭和10年~15年)	162	133	17	12	0	0	0.00%	高48回(平成5年~8年)	427	2	121	304	8	24,000	2.63%
中36回(昭和11年~16年)	175	148	11	16	0	0	0.00%	高49回(平成6年~9年)	414	1	118	295	11	33,000	3.73%
中37回(昭和12年~17年)	177	141	16	20	0	0	0.00%	高50回(平成7年~10年)	398	3	116	279	4	12,000	1.43%
中38回(昭和13年~18年)	184	125	13	46	4	12,000	8.70%	高51回(平成8年~11年)	391	1	107	283	4	12,000	1.41%
中39回(昭和14年~19年)	188	125	18	45	4	12,000	8.89%	高52回(平成9年~12年)	395	1	100	294	5	15,000	1.70%
中40回(昭和15年~20年)5年制	197	134	15	48	4	12,000	8.33%	高53回(平成10年~13年)	356	0	89	267	8	24,000	3.00%
中40回(昭和16年~20年)4年制	207	134	13	60	3	9,000	5.00%	高54回(平成11年~14年)	357	2	89	266	1	3,000	0.38%
中41回(昭和17年~21年)中42回	97	63	15	19	1	3,000	5.26%	高55回(平成12年~15年)	358	0	79	279	1	3,000	0.36%
中42回(昭和17年~22年)	141	86	18	37	3	9,000	8.11%	高56回(平成13年~16年)	317	0	70	247	2	6,000	0.81%
中43回(昭和18年~23年)高1回	176	92	31	53	2	6,000	3.77%	高57回(平成14年~17年)	395	3	88	304	4	12,000	1.32%
中44回(昭和19年~23年)高2回	63	28	17	18	2	6,000	11.11%	高58回(平成15年~18年)	388	1	86	301	1	3,000	0.33%
併中1回(昭和20年~23年)高3回	26	0	0	26	0	0	0.00%	高59回(平成16年~19年)	318	0	59	259	6	18,000	2.32%
併中2回(昭和21年~24年)高4回	40	0	0	40	0	0	0.00%	高60回(平成17年~20年)	320	0	52	268	1	3,000	0.37%
小計	5,061	4,068	489	504	24	72,000	4.76%	高61回(平成18年~21年)	318	0	48	270	1	3,000	0.37%
高等学校								高62回(平成19年~22年)	322	0	51	271	4	12,000	1.48%
高1回(昭和23年~24年)	112	64	4	44	3	9,000	6.82%	高63回(平成20年~23年)	315	1	33	281	10	30,000	3.56%
高2回(昭和23年~25年)	194	94	23	77	13	39,000	16.88%	高64回(平成21年~24年)	322	0	28	294	4	12,000	1.36%
高3回(昭和23年~26年)	320	149	41	130	12	36,000	9.23%	高65回(平成22年~25年)	321	0	27	294	10	10,000	3.40%
高4回(昭和24年~27年)	347	143	39	165	21	63,000	12.73%	高66回(平成23年~26年)	318	0	4	314	10	10,000	3.18%
高5回(昭和25年~28年)	377	148	33	196	28	87,000	14.29%	高67回(平成24年~27年)	320	0	9	311	11	11,000	3.54%
高6回(昭和26年~29年)	381	124	49	208	27	85,000	12.98%	高68回(平成25年~28年)	318	0	4	314	13	13,000	4.14%
高7回(昭和27年~30年)	412	134	31	247	26	78,000	10.53%	高69回(平成26年~29年)	320	0	3	317	18	18,000	5.68%
高8回(昭和28年~31年)	387	115	45	227	38	114,000	16.74%	高70回(平成27年~30年)	311	0	0	311	24	24,000	7.72%
高9回(昭和29年~32年)	401	115	45	241	38	114,000	15.77%	高71回(平成28年~31年)	314	0	0	314	0	0	0.00%
高10回(昭和30年~33年)	408	108	37	263	43	129,000	16.35%	小計	27,982	2,102	4,953	20,927	1,356	3,918,000	6.48%
高11回(昭和31年~34年)	389	98	24	267	45	135,000	16.85%	合計	33,972	6,409	5,710	21,853	1,387	4,018,000	6.35%

※終身会費納付者を除く。

※中1回から高70回までは会費の納入をお願いしている卒業回数です。高71回の方々には、ご寄付という形で納入頂いています。

終身会費納入者

## 同窓会活動は同窓生の会費で運営されています

平成30年10月から令和元年9月までの会費納入者と寄付者のみなさん（敬称略）

年会費・寄付金納入者



## 中学からの進学状況

(2019年5月1日現在)

## (1) 出身中学校別生徒数

出身中学		年 次			
		1年	2年	3年	合計
小田原市	城山	15	11	11	37
	白鷗	5	3	2	10
	白山	12	23	16	51
	城南	4	2	8	14
	鴨宮	7	9	11	27
	千代	5	10	11	26
	国府津	2	4	5	11
	酒匂	4	7	14	25
	泉	11	6	12	29
	橋	1	1	3	5
南足柄市	城北	8	6	8	22
	南足柄	13	11	9	33
	岡本	2	7	5	14
	足柄台	5	9	10	24
足柄上郡	中井町	中井	4	1	5
	大井町	湘光	12	9	9
	松田町	松田	5	4	4
	山北町	山北	6	2	4
	開成町	文命	9	11	9
足柄下郡	箱根町	箱根	4	1	2
	真鶴町	真鶴	6	4	3
	湯河原町	湯河原	2	9	8
					19
秦野市	本町	7	8	7	22
	南	5	3	4	12
	東	1	3	4	8
	北	2	0	5	7
	大根	2	3	0	5
	西	10	11	4	25
	南が丘	12	8	12	32
	渋沢	4	3	6	13
伊勢原市	鶴巻	5	8	6	19
	山王	4	3	3	10
	成瀬	7	8	2	17
	伊勢原	5	6	4	15
平塚市	中沢	2	1	4	7
	江陽	7	1	1	9
	大洋	3	2	0	5
	春日野	2	0	0	2
	浜岳	6	3	13	22
	大野	1	1	1	3
	土沢	1	0	0	1
	金旭	1	2	1	4
	中原	1	1	1	3
	大住	2	4	0	6
	山城	1	0	0	1

出身中学		年 次			
		1年	2年	3年	合計
平塚市	神明	1	1	0	2
	金目	2	1	1	4
	旭陵	1	2	0	3
	大磯	9	3	6	18
	国府	1	3	5	9
	二宮	10	9	8	27
	二宮西	2	2	2	6
	第一	1	4	2	7
	鶴嶺	1	2	1	4
	松林	1	1	1	3
茅ヶ崎市	西浜	1	1	1	3
	松浪	9	0	3	12
	梅田	2	7	1	10
	浜須賀	5	4	1	10
	北陽	1	0	0	1
	中島	1	1	1	3
	円蔵	1	1	0	2
	赤羽根	0	3	1	4
	萩園	1	2	1	4
	寒川	0	1	0	1
鎌倉市	旭が丘	3	3	0	6
	寒川東	2	2	0	4
	深沢	0	2	0	2
	大船	0	1	0	1
藤沢市	手広	1	1	1	3
	横浜国大附属鎌倉	1	0	0	1
	第一	0	0	1	1
	明治	0	0	1	1
厚木市	鶴沼	1	1	2	4
	片瀬	2	1	0	3
	湘洋	2	0	2	4
	藤ヶ岡	0	1	0	1
	善行	1	1	0	2
	高浜	0	2	2	4
	大庭	0	0	1	1
	村岡	2	0	2	4
	高倉	0	1	0	1
	滝の沢	2	0	1	3
中郡	大清水	0	1	0	1
	羽鳥	1	2	0	3
	厚木	0	2	5	7
	睦合	1	0	0	1
	小鮎	1	1	1	3
	玉川	1	2	4	7
	南毛利	3	3	4	10

出身中学		年 次			
		1年	2年	3年	合計
厚木市	東名	1	2	2	5
	林	0	0	1	1
	森の里	3	1	2	6
	睦合東	0	1	0	1
	相川	1	3	0	4
海老名市	海老名	0	0	1	1
	柏ヶ谷	1	0	0	1
	大谷	1	0	0	1
	座間	0	0	1	1
	栗原	0	4	0	4
相模原市	相原	0	1	0	1
	希望が丘	1	0	0	1
	豊田	1	0	0	1
	領家	0	1	0	1
	その他	2	3	3	8
合 計		318	320	319	957

## (2) 居住地別人数

居住地		年 次			
		1年	2年	3年	合計
小田原市		74	84	103	261
		21	27	23	71
足柄上郡	大井町	12	9	9	30
	山北町	6	2	4	12
	開成町	9	12	9	30
	松田町	5	3	4	12
	中井町	4	1	5	10
足柄下郡	湯河原町	7	11	9	27
	箱根町	4	1	3	8
	真鶴町	1	3	2	6
	秦野市	49	46	49	144
伊勢原市	伊勢原市	17	18	13	48
	二宮町	11	11	12	34
	大磯町	10	7	10	27
中郡	平塚市	30	18	18	66
	茅ヶ崎市	26	25	13	64
	高座郡 寒川町	5	6	3	14
中郡	藤沢市	11	11	9	31
	海老名市	2	0	1	3
	厚木市	11	15	18	44
	座間市	0	4	1	5
	相模原市	0	0	1	1
鎌倉市	鎌倉市	1	4	1	6
	横浜市	2	1	0	3
	合 計	318	319	320	957

## 新会員を迎えて ～桜友会入会式～

今年も新たに314人の会員を同窓会に迎えました。思い出の詰まった母校からの卒業式を翌日に控えた3月8日、母校体育館で第71回卒業生の桜友会（同窓会）入会式が行われました。

校内幹事長の津田富士夫先生（高30）の司会で、まず、津田憲一郎会長（高20）が新入会員に対して、ホームカミングデーをはじめとする同窓会の活動内容、3万人を超える卒業生が社会の各分野で活躍していることなどを紹介し、入会への歓迎とこれからの活躍を期待する激励の言葉を贈りました。引き続き、各クラスから選出された2人ずつの幹事の紹介があり、高71の常任幹事となつた柏木遙香さん、川井健太郎さんに、会長から常任幹事の委嘱状が手渡されました。2人の常任幹事からは、常任幹事の決意が表明されました。また、新入会員には、入会記念品としてボールペンと印鑑がセットになったネームペンが贈られました。

最後に、司会の津田先生から、同窓会組織の概要や各委員会の活動内容、桜友祭（ホームカミングデー）などの紹介があり、入会式を無事に終えることができました。



津田会長 次の挨拶



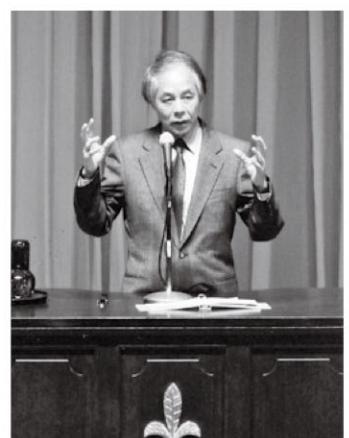
創立百周年記念式典の校歌斎唱



創立百周年記念の大校章



桜林（※）



創立百周年記念講演会

# 祝 小田原高等学校 創立百二十周年

母校は、令和2年に創立百二十周年を迎えます。このため、学校、PTA、同窓会が共同して実行委員会を立ち上げ、記念事業の検討をスタートさせました。その主要な行事は、記念式典・講演会・祝賀会の実施、記念イベントの開催、百二十年史の編集ですが、このほかにも関連行事として、いろいろなアイデアや企画提案があると考えています。

そこで、この実行委員会のもとに、総務企画委員会、式典委員会、百二十年史編集委員会を置いて、学校、PTA、同窓会関係者をメンバーとして準備を進めているところです。記念式典は、令和2年11月20日（金）午後、場所は小田原市民会館、また祝賀会は、同日記念式典後に、場所は、お堀端コンベンション

ホールでそれぞれ開催することが決定しています。なお、同日、記念式典に引き続き、講演会を企画しており、今後、テーマや講師を決定します。

また、記念史についても、直近10年間の歴史を資料に基づき記述するために、資料収集という地道な作業に既に取り掛かっており、旧職員・現職員も委員になつていただき、母校の歩みを持続させる大事な事業が進められています。

今後、来年度同窓会総会の時期を目指し、記念式典をはじめ、記念事業全体の具体的な姿を同窓会の皆様に、同窓会のホームページや各種広報を通じてお知らせします。

卒回	著者	書名
中3	榎原 武雄	教育と文化第26号、指導のための野外観察
中39	小玉 利助	戸塚山詩集第十六集、第十七集（2冊）
高2	奥津 裕	八幡会会員だより 第16号
高8	平野 富雄	地熱発電の隠された真実、水の風景、源泉湯宿、箱根二十湯、大井町史別編自然1 大井町の植物、大井町史別編自然2 大井町の地形・地質と地下水、大井町史別編自然3 大井町の動物
高10	江成 健一	200年企業を目指して
高11	石井 敬士	小田原史談 第255号、第256号、第257号、第258号
高13	杉野 格	デザインマネジメント
高20	櫻井 靖久	47のエピソードで学ぶ学校のリスクマネジメント
高20	清水 育男	スウェーデン語（世界の言語シリーズ12）
高26	井上 弘	戦争と民衆 第83号
高34	前多 秀彦	曲集 ぱろぱろごはん
高43	常盤 勝美	だからアイスは25℃を超えるとよく売れる

「桜の葉文庫」は、学校が「卒業生と関係者の著書や論文を広く収集し、各界の卒業生の業績を一堂に集め、在校生の指針とする」ということを目的に、平成元年に県下で初めて創設しました。卒業生、在校生、旧職員、現職員、その家族の著書を集めたもので、小説、雑誌、画集、教科書など多岐にわたります。著書をお持ちでしたら、ぜひ小田高図書館へご寄贈ください！

## 桜の葉文庫

### 平成30年度 入試結果と進路状況

(2019年4月3日現在)

#### 大学別合格者数

##### 【国立大学】

合格者合計78名  
(現役生53名、既卒生25名)

大学名	合計	内 現役
北海道	9	5
東北	6	1
山形	1	1
筑波	4	4
宇都宮	1	0
群馬	1	1
埼玉	2	2
お茶の水女子	1	1
東京	1	1
東京海洋	5	5
東京外国語	3	2
東京芸術	1	0
東京工業	2	1
東京農工	3	1
横浜国立	7	6
新潟	1	1
金沢	1	1
山梨	1	1
信州	9	7
静岡	6	5
名古屋	4	2
京都工芸織維	1	1
大阪	1	1
神戸	1	1
奈良女子	1	0
広島	2	1
高知	1	0
九州	1	0
宮崎	1	1

#### 【公立大学】

合格者合計35名  
(現役生28名、既卒生7名)

大学名	合計	内 現役
秋田県立	1	0
会津	1	1
福島県立医科	1	0
高崎経済	4	4
首都大学東京	10	7
神奈川県立保健福祉	3	3
横浜市立	9	8
都留文科	1	1
静岡県立	1	1
静岡文化芸術	2	2
大阪市立	1	0
大阪府立	1	1

#### 【私立大学】

合格者合計1,054名  
(現役生780名、既卒生274名)

大学名	合計	内 現役
酪農学園	2	0
国際医療福祉	10	9
獨協	1	1
文教	2	2
青山学院	50	40
亜細亜	1	1
跡見学園女子	1	1
桜美林	6	6
大妻女子	3	3
学習院	19	17
学習院女子	2	1
共立女子	4	4
杏林	8	8
北里	30	27
慶應義塾	14	11
工学院	9	7
国学院	15	10
国際基督教	1	0
国士館	6	4
駒澤	19	15
駒沢女子	3	2
産業能率	5	4
昭和	2	1

#### 大学名

#### 合計

#### 内 現役

大学名	合計	内 現役
武蔵野美術	4	1
明治	82	68
明治学院	28	23
明治薬科	3	2
明星	4	4
立教	37	30
和光	2	1
早稲田	44	36
麻布	7	7
神奈川	21	17
神奈川工科	10	10
鎌倉女子	1	1
関東学院	8	6
相模女子	3	3
松蔭	1	1
湘南医療	1	1
湘南工科	1	0
桐蔭横浜	1	1
東洋英和女学院	1	0
フェリス女学院	3	3
横浜創英	2	2
横浜薬科	1	1
愛知医科	1	0
京都精華	1	1
同志社	3	0
立命館	10	4
関西	3	0
近畿	4	1
関西学院	2	0
岡山理科	2	1
立命館アジア太平洋	5	4

#### 校種別の進路

	男子	女子	合計
4年制大学	128	128	256
短期大学	0	1	1
専門学校等	0	1	1
就職	0	1	1
進学準備・その他	43	12	55
合計	171	143	314



# 小田高祭



6月7日、8日の2日間、本年も伝統の小田高祭が開催されました。テーマは「小田高祭革命」です。

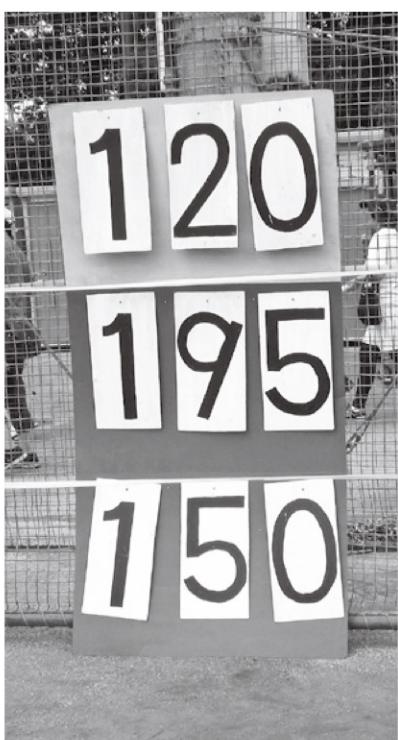
1年次は本年も折り鶴壁画を作しました。テーマは「おとぎ話」。このテーマに合わせて学級ごとに工夫を凝らして見事な作品を仕上げていました。1位に選ばれたのは1年1組の作品「アラジン」でした。

2年次・3年次は本年も各学級で演劇発表を行いました。2年次は喜劇を、3年次は幅広くテーマを求めて、意欲的な演劇発表を行っていました。2年次では9組の「チコちゃん

に叱られる」が、3年次では9組の「アンナチュラル」が、それぞれ1位になりました。

また、装飾・道具部門は3年2組の「Orange—オレンジ」、看板部門では「ジャズ研究部」、垂幕部門では2年1組の「君の名は」、Tシャツ部門では「ダンス部」、P.V.部門では「ダンス部」、部活動部門では「ダンス部」がそれぞれ1位になりました。そして、小田高祭最高の賞である小田高祭大賞は「ダンス部」が受賞しました。

生徒会の小田原おでんや、PTAの食品販売も元気に行われていました。小田高祭は今年も大成功で幕を閉じました。



グラウンドに大きく輪を描いて行った後夜祭のフォークダンスはきっと生徒の皆さん的心に残るものになったでしょう。PTAの食品販売や



本年は9月7日に小田原高校体育祭を行いました。

水分補給支援にも感謝申し上げたいと思います。

# 体育祭



部活動の記録（2018年後期～2019年前期）

文武両道  
小田高生  
がんばれ!!

至誠無息  
堅忍不拔



創立明治33年(1900)  
開校明治34年(1901)  
神奈川県第二中学校



タイトルイラスト：清水悠さん（2年）

## 第31号

神奈川県立小田原高等学校  
同窓会 横友会連絡先  
電話・FAX 0465-20-3281  
メールアドレス  
kenyukai@odako.org  
私書箱 〒250-8691  
日本郵便㈱小田原郵便局  
私書箱15号  
県立小田原高等学校同窓会  
ホームページ <https://odako.org>

## 体育祭

# 2019

## 小田高祭

小田原高校同窓会 横友会ホームページを  
ご活用ください

小田原高校同窓会

検索



◀携帯・スマホから  
住所変更等を連絡できます

メールは [kenyukai@odako.org](mailto:kenyukai@odako.org)

同期会、地域・職域同窓会、部OB会などの開催案内をホームページに掲載し、広く参加を呼びかけることができます。

ホームページミングデーの開催の様子をはじめ、同窓会の活動や小田高の写真をご覧になれます。

ホームページから同窓会に住所変更を連絡したり、各種問い合わせをすることができます。

「八幡山」の原稿も募集中です。会費納入もお忘れなく!!